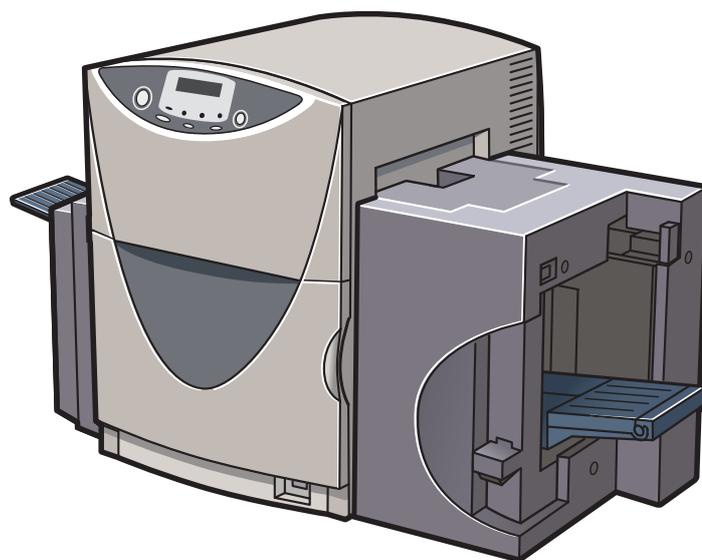


Canon

CX 670 / CX 650

COLOR CARD PRINTER

● USER's GUIDE ユーザーズガイド



本書に書かれた安全性に関する注意文をお読みください。

© CANON FINTECH INC. 2010
PUB. 4Y1-8469-070

ガイドと CD-ROM の使いかた

スタートガイド（同梱の冊子）

本製品を初めてお使いになるときは必ずお読みください。

スタートガイドは、本製品を安全にお使いいただくための注意事項や、プリンタを使用するまでに必要な準備（ソフトウェアのインストール方法など）について説明しています。

プリンタソフトウェア（同梱の CD-ROM）

プリンタドライバ、ユーザズガイド、製品安全データシート (MSDS) が収録されています。

■プリンタドライバ

本製品を Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 で使用するためのプリンタドライバ、および付属ソフトウェアです。

プリンタドライバのインストール方法については、スタートガイドをお読みください。

■ユーザズガイド

本製品の具体的な操作方法を説明した電子マニュアルです。

基本的な印刷手順、メンテナンスの方法、困ったときの対処方法、そして、プリンタ本体やプリンタドライバに関するすべての機能を説明しています。

目次および索引から、目的の項目を表示させることができます。

ユーザズガイドをご覧になるには Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。

お使いのコンピュータに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールを行ってください。

PDF ファイルのユーザズガイドは以下の環境でご覧になれます。

- アプリケーションソフト Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader
- ハードディスク空き容量 5MB 以上（ハードディスクにコピーする場合）

■ヘルプ機能

本製品では、スタートガイドやユーザズガイドのほかにも、プリンタドライバの操作中にヘルプ機能によってプリンタの機能や操作、困ったときの対処方法などを見ることができます。

ヘルプ機能は、プリンタドライバの画面にある [ヘルプ] (またはメニューの [ヘルプ]) でご利用になれます。

■製品安全データシート (MSDS)

化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、本製品で使用するインクカートリッジ内のインクに含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱上の注意、環境への影響などに関する情報を記載しています。

製品安全データシート (MSDS) をご覧になるには Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。

お使いのコンピュータに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合はアドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールを行ってください。

- ご注意

製品安全データシート (MSDS) は変更が入る場合があります。

最新版はキヤノンのホームページ <http://canon.jp/ecology> にて提供しております。

あわせてご確認ください。

目次

はじめに	1
オンライン登録について	1
マークについて	1
掲載画面について	1
商標について	2
略称について	2
お客様へのお願い	2
電波障害規制について	3
国際エネルギースタープログラムについて	3
安全にお使いいただくために	4
保管・設置場所について	4
電源および電源コードについて	6
取り扱いについて	8
移動時の注意について	10
インクカートリッジについて	11
1 お使いになる前に	13
1.1 各部の名称と働き	13
正面	13
背面	14
本体内部	15
操作パネル	16
オンラインとオフライン	18
表示パネル	18
1.2 コンピュータと接続する	20
USB ケーブルで接続する	21
1.3 電源を入れる / 切る	22
電源を入れる	22

電源を切る（日常の終了）.....	23
電源を完全に切る	24
1.4 用紙をセットする	25
2 印刷のしかた	33
2.1 印刷データの作りかた.....	33
2.2 印刷を行う	35
2.3 印刷を中止する.....	37
操作パネルから印刷を中止する.....	37
ステータスマニタから印刷を中止する.....	38
3 プリンタドライバの使いかた.....	39
3.1 プリンタドライバのダイアログボックスを表示する.....	39
アプリケーションソフトから表示する.....	39
[スタート] メニューから表示する	42
3.2 【基本設定】 シートを利用する.....	45
印刷部数を決める	46
印刷設定を登録する	47
登録されている印刷設定を使う	51
バージョン情報を確認する.....	52
3.3 【用紙設定】 シートを利用する.....	53
用紙サイズを選ぶ.....	54
用紙サイズを自由に設定する.....	55
用紙の種類を選ぶ.....	59
印刷の向きを選ぶ.....	60
3.4 【色設定】 シートを利用する.....	63
原稿に合った色調整を選ぶ.....	64
明るさを調整する	65
シャープネスをかける.....	66
レベル補正を行う	66
単色で印刷する	67
カラーバランスや濃度を調整する	68

目次

3.5	【アドバンスド設定】シートを利用する	70
	割り付け印刷をする	71
	枠線を印刷する	72
	印刷順を決める	73
	給紙間隔を決める	73
	オーバーレイ印刷をする	74
3.6	【ユーティリティ】シートを利用する	78
	スリープ状態に切り替える	79
	スリープタイムの設定時間を変更する	80
	特殊な設定を行う	81
4	ステータスマニタの使いかた	83
4.1	ステータスマニタを表示する	83
	ステータスマニタを起動する	83
	ステータスマニタの起動と表示方法	84
4.2	ステータスマニタを利用する	87
	印刷状況を見る	88
	ステータス情報を見る	89
	インク情報を見る	92
5	メンテナンスのしかた	93
5.1	ヘッドをクリーニングする	93
	通常のクリーニングを行う	93
	強力なクリーニングを行う	94
5.2	ヘッド位置調整を行う	95
5.3	設定値を確認する	104
5.4	インクカートリッジを交換する	106
5.5	使用済みインクカートリッジ回収のお願い	110
5.6	プリンタの清掃	111

6 困ったときは	115
6.1 メッセージが表示されたとき	115
6.2 用紙が詰まったとき	119
6.3 思ったとおりに動作しないとき	122
6.4 思ったとおりの印刷結果にならないとき	125
7 付録	129
付録-1 移動について	129
付録-2 プリンタドライバをアンインストールする	133
仕様	136
索引	139

はじめに

このたびは、カラーカードプリンタ CX 670 / CX 650 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品の機能を十分にご理解いただき、効果的にご利用いただくため、ご使用になる前に本書をひとつとお読みください。

本書では、本製品をご活用いただくための情報が説明されています。

オンライン登録について

ユーザー登録及びアンケートへのご協力をお願いいたします。登録されますと、新製品やアップグレードについてご案内させていただきます。

<http://cweb.canon.jp/cardprinter/purchase.html>

マークについて

本書では、次のようなマークを使用しています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、障害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



禁止

取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。



操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお奨めします。



操作の手順に対する補足説明が書かれています。操作の参考にしてください。

掲載画面について

- 本書で掲載している画面とイラストは、特に記載が無い限り、CX 670 のものです。また、プリンタおよびプリンタドライバの操作のしかたは CX 650 でも同様です。
- 本書では、プリンタドライバの設定画面は原則として Windows 2000 の画面を使用しています。基本的に本プリンタドライバの画面の表示内容や操作のしかたは、Windows 7/Windows Vista/Windows XP でも同様です。

はじめに

- 操作パネルのキー（ボタン）は、[] キーと表記しています。
例：[節電] キー

商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat Reader、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

- Microsoft[®] Windows[®] 7 日本語版を Windows 7 と表記しています。
- Microsoft[®] Windows Vista[®] 日本語版を Windows Vista と表記しています。
- Microsoft[®] Windows[®] XP 日本語版を Windows XP と表記しています。
- Microsoft[®] Windows[®] 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。
- Microsoft[®] Windows[®] を Windows と表記しています。

お客様へのお願い

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条

等

- 本書の一部または全部を無断で転載する事は、禁止されています。
- 本装置および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。

- 本装置および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、事務所等で使用される装置ですが、電波障害規制（VCCI）では、家庭環境でも使用でき得る規制値を満足しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

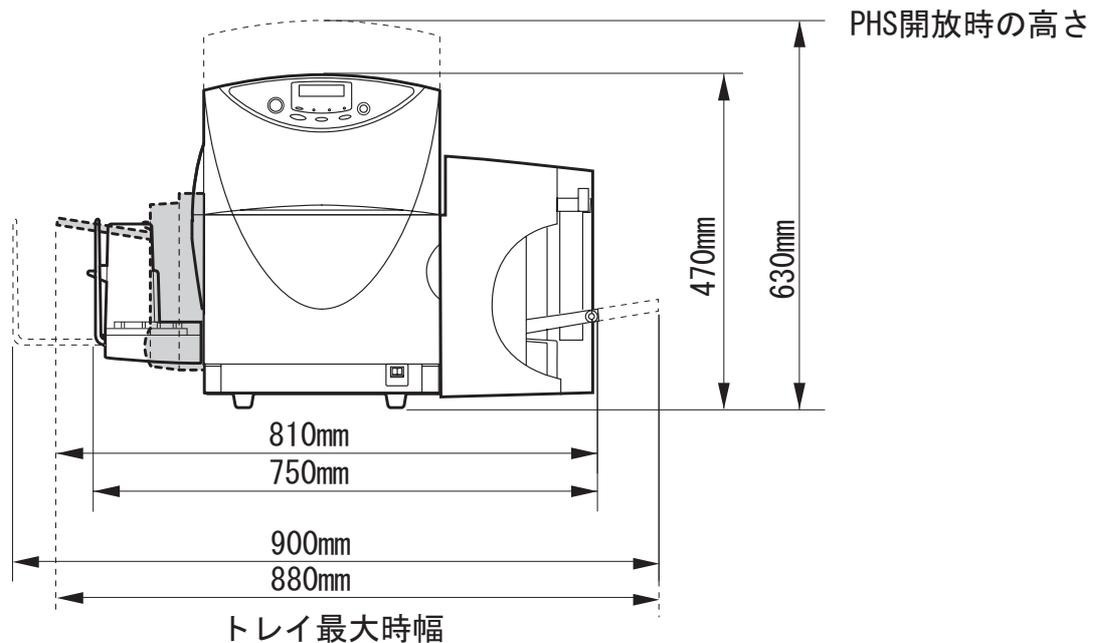


安全にお使いいただくために

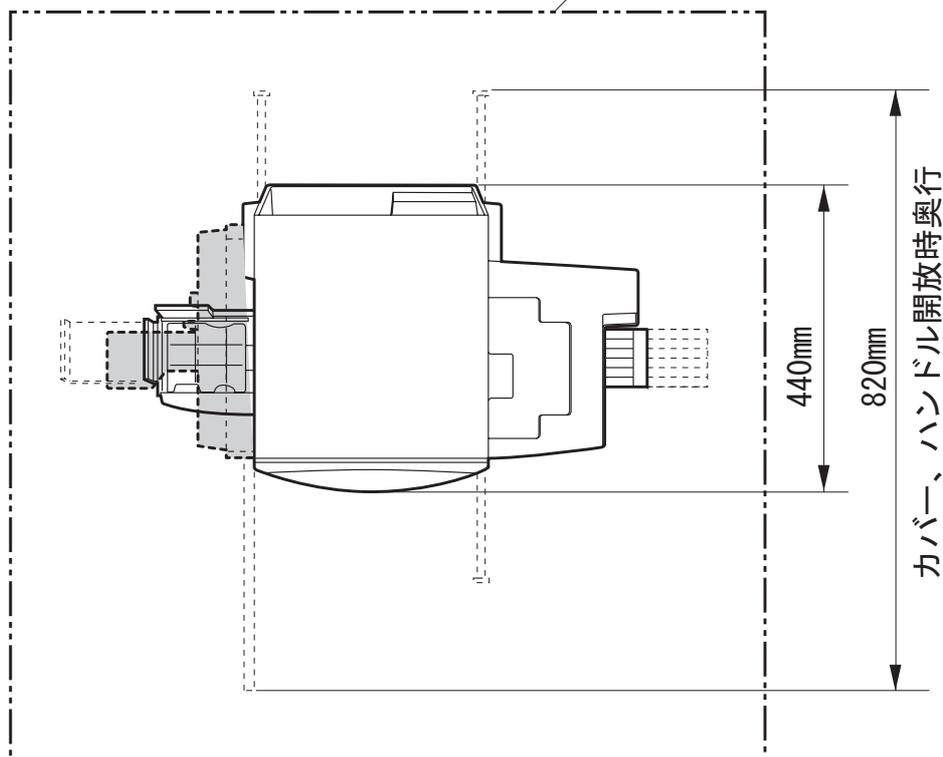
本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

保管・設置場所について

設置スペースは十分におとりください。



設置スペースを十分おとりください。



安全にお使いいただくために



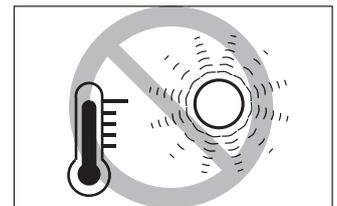
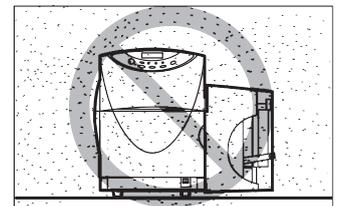
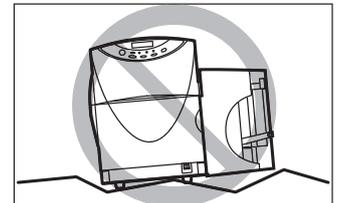
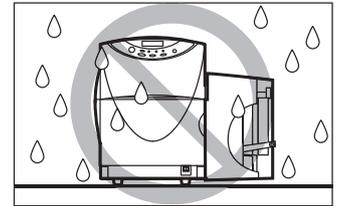
警告

- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電・故障の原因となることがあります。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。



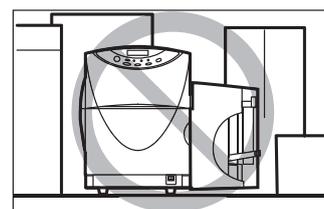
注意

- 次のような場所でのご使用は避けてください。
 - 潮風が当たる場所や湿気の多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、部屋を急激に暖めた場合や、暖かい部屋へ本機を移動した場合、内部に水滴（結露）が生じることがあります。この場合は、一時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてから使用してください。
 - ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、本機の上に重いものをのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因となることがあります。
 - ホコリの多い場所や潮風が当たる場所など塩分の多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。また、水道の蛇口付近や水気のある場所に置かないでください。感電の原因となることがあります。
 - 直射日光が当たる場所やエアコンの側、車の中などのように、温度変化の激しい場所には置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。



安全にお使いいただくために

- 指定された温度・湿度で使用してください。暑すぎたり寒すぎたりすると本機が正常に動作しないことがあります。
設置環境: 温度 15℃～30℃、湿度 10%～80%(ただし結露なきこと)
- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。誤作動や故障の原因となることがあります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。また、いつでも電源プラグを抜けるように、コンセントの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源および電源コードについて



警告

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。また、延長コードは加熱・発火の危険があるので使わないでください。
- タコ足配線はしないでください。火災・加熱の原因となります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱させたり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ(芯線の露出、断線など)場合は、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

アース線を接続してよいもの

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）が行われているアース端子

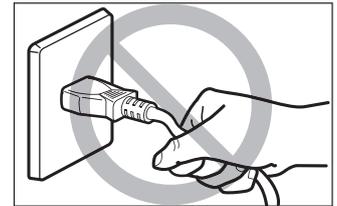
アース線を接続してはいけないもの

- 水道管は配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ガス管はガス爆発や火災の原因になります。
- 電話線のアースや避雷針は落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因となります。



注 意

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となります。



- 長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- いつでも電源プラグを抜けるように、電源プラグの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。
- 指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、接続するコンセントの電源容量に十分余裕があることを確認してください。火災・感電・故障の原因となります。

電源電圧：AC100V

電源周波数：50/60Hz

消費電力：CX 670 約 160W（最大） / CX 650 約 130W（最大）

スリープ状態時：10W 以下



禁 止

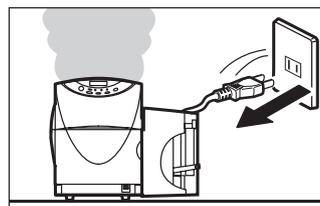
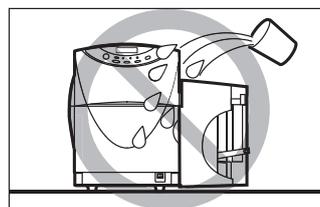
- 電源を切るときは、本機が停止し、スリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。
- 頻りに電源スイッチの入／切を繰り返さないでください。故障の原因となります。またメイン電源スイッチを切った場合には、5秒以上の間隔をおいてからスイッチを入れてください。

取り扱いについて



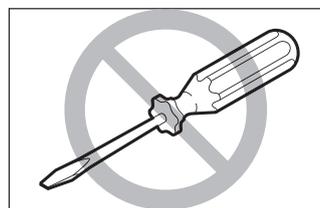
警告

- 大量のインク漏れを発見した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本機に水や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。万一、内部にこれらの液体が入った場合は、まず、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 本機を清掃するときは、水を含ませて固く絞った布で汚れを落とした後、から拭きしてください。アルコール、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。



注意

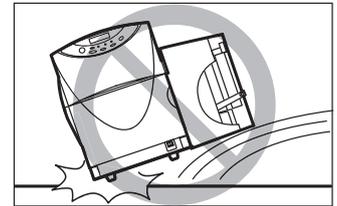
- 本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



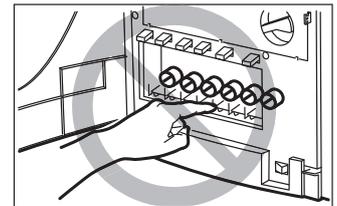
- 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

安全にお使いいただくために

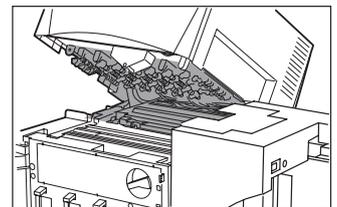
- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



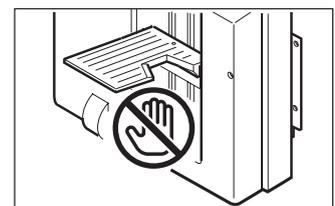
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電気部品などに接触すると、火災・感電の原因になります。
- 本機のカバーは外さないでください。感電の恐れがあります。
- 清掃のときは、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源スイッチを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがや故障の原因となります。
- インクカートリッジ挿入部の奥には針部があり危険です。指を入れたりしないでください。けがや故障の原因となります。



- プリントヘッド周辺（図のグレーの部分）に手を触れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



- 電源コードやケーブル、本体開口部、本体内部のギア・ベルト・ローラ・電気部品に子供が触れないように注意してください。けがや故障の原因となります。
- 給紙トレイが動作しているときは、トレイに触れないでください。また、トレイ下部に手を入れたり物を置いたりしないでください。けがや故障の原因となります。
- オートスタッカが動作しているときは、スタッカに触れないでください。また、スタッカ下部に手を入れたり物を置いたりしないでください。けがや故障の原因となります。

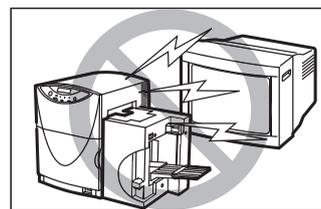


安全にお使いいただくために



禁止

- 動作中に前ドアを開けたり、電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。故障の原因となります。
- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず、故障の原因となります。またインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- PHS ユニットに無理な力を加えたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。また PHS ユニットはゆっくりと開閉してください。
- テレビやラジオ、スピーカーなど、磁気の強いものの近くで使用しないでください。誤動作することがあります。また、テレビやラジオの近くで使用すると、電波受信を妨害することがあります。



移動時の注意について



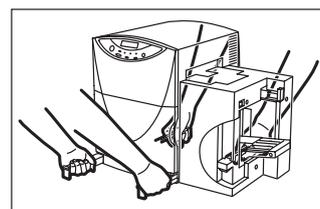
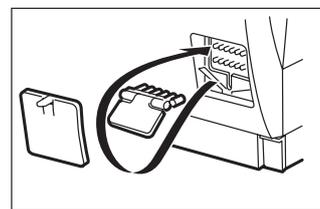
警告

- 長距離の輸送や振動の伴う輸送（自動車等）を行うときは、事前に販売店にご相談ください。必要な処置を行わずに輸送による振動、衝撃などを与えますと、機械に損傷を与え、火災・故障の原因となります。



注意

- 建物内で本機を移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルをすべて外したことを確認の上、行ってください。
- 本機を移動または輸送するときは、本体背面にあるサブカバーを開けて、内部にあるキャップを上側の穴にしっかりと差し込んでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- 本機は、CX 670 の場合は約 38kg、CX 650 の場合は約 35kg あります。本体底部に収納されている 4 つのハンドルを引き出し、必ず 2 人以上で前後からハンドルを持って腰などを痛めないように注意してください。また、他の場所を持つと破損したり、不安定なため落としたりしてけがの原因となります。

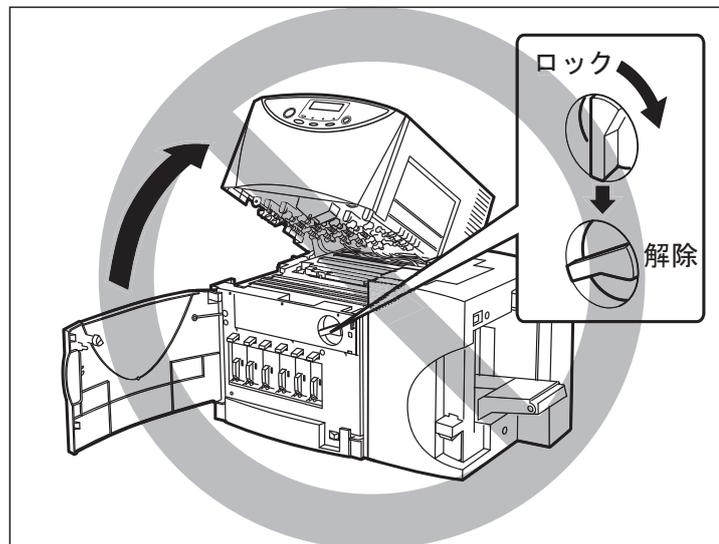


安全にお使いいただくために

- 本機は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。
- 本機を移動または輸送するときは、インクカートリッジを取り出す必要はありません。移動または輸送する前に取り出してしまうと、インクカートリッジ挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- PHS ユニットオープンハンドルを解除した状態で、本機を移動または輸送しないでください。プリントヘッドの損傷の原因となります。



禁止



インクカートリッジについて



注意

- 保管の際は子供の手の届かない場所に保管してください。誤飲等の事故につながります。もし飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
 - インクが目に入った場合は、直ぐに多量の流水で洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。
 - インクが皮膚についた場合は、水と石けんでよく洗浄し、もし刺激が残るような場合には、医師の診断を受けてください。

安全にお使いいただくために

- インクカートリッジを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



- 内部にはインクが入っていますので、絶対に分解したり改造したりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。
- インクカートリッジは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。



禁止

1

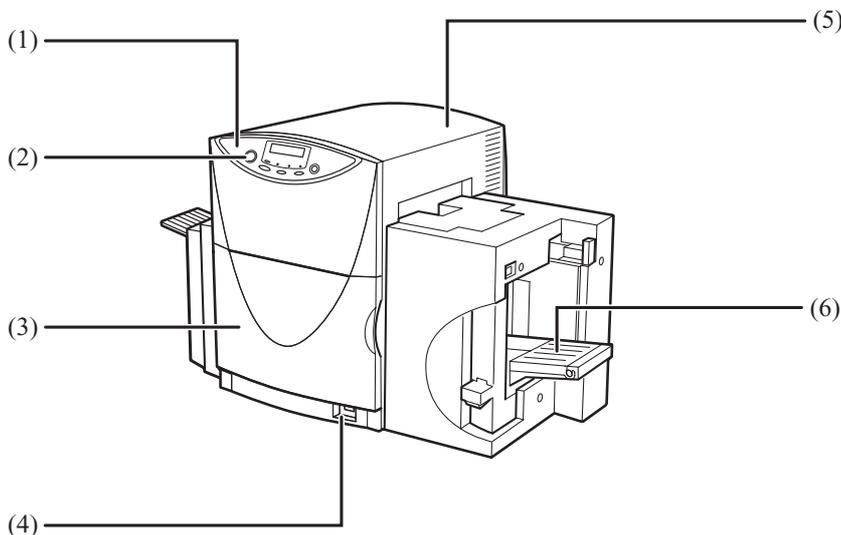
お使いになる前に

本製品をお使いになる前に、印刷を行うまでに必要な準備や、覚えていただきたい基本的な事柄について説明します。

1.1 各部の名称と働き

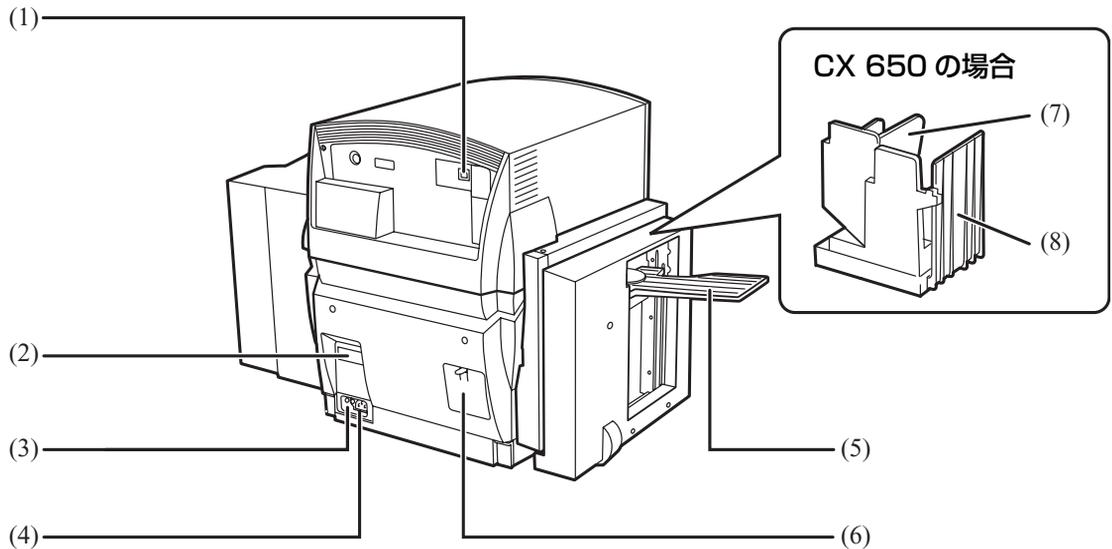
本機の各部の名称と働きは、次のとおりです。

正面



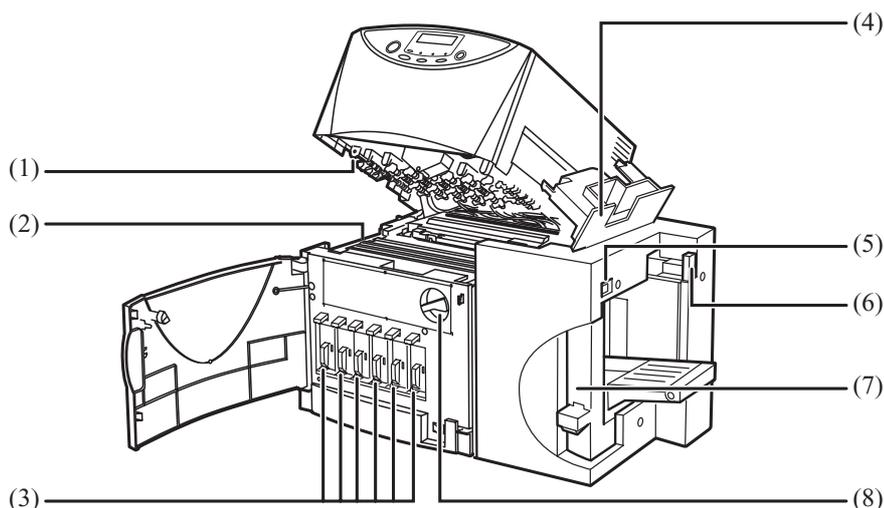
- (1) **操作パネル**
プリンタの動作を切り替えるキーと、プリンタの状態を示す表示ランプや表示パネルの部分を指します。
- (2) **【節電】キー**
通常状態（すぐに印刷できる状態）とスリープ状態（節電の状態）を切り替えます。
- (3) **前ドア**
インクカートリッジを交換するときに開きます。
- (4) **メイン電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフするスイッチです。電源をオフにする場合は、【節電】キーを押してスリープ状態にしてからメイン電源スイッチを押します。
- (5) **PHSユニット**
搬送路に詰まった用紙を取り除くときや、内部を清掃するときに開きます。中にはプリントヘッドが収納されています。
- (6) **給紙トレイ**
用紙をセットします。

背面



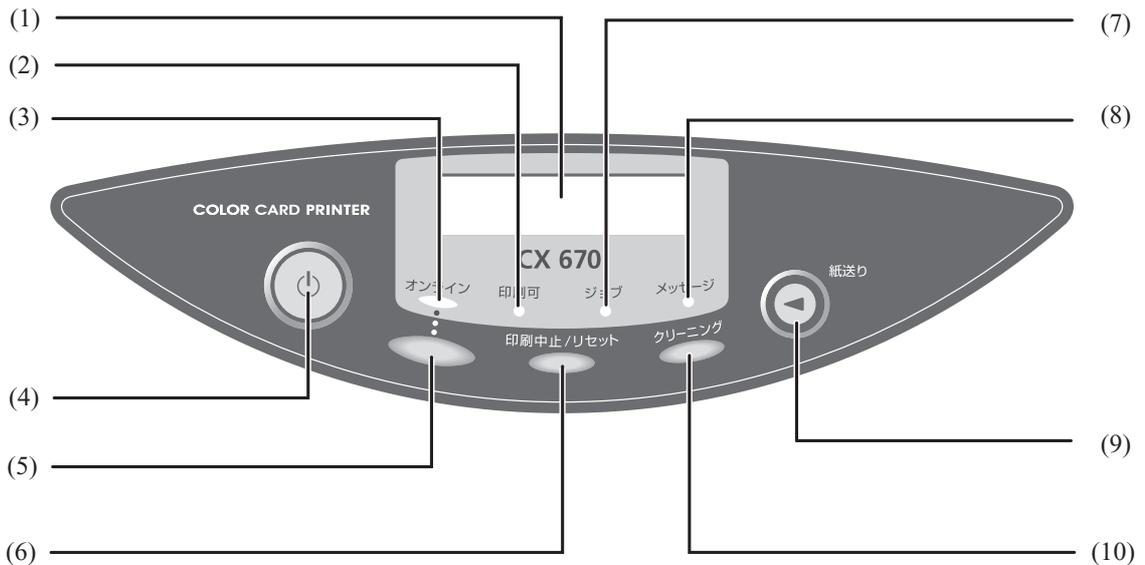
- (1) **USB コネクタ**
USB ケーブルでコンピュータと接続します。
- (2) **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアル番号が記載されています。
プリンタの修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値（CX 670 の場合は 1.0A、CX 650 の場合は 0.9A）は、平均消費電流です。
- (3) **アース線接続部**
付属のアース線を接続します。
- (4) **電源コネクタ**
付属の電源コードを接続します。
- (5) **オートスタッカ (CX 670 の場合)**
印刷済み用紙を受け取ります。
- (6) **サブカバー**
移動または輸送時に、内部のキャップでインク経路をふさぐために開きます。
- (7) **名刺ホルダ (CX 650 の場合)**
印刷済みの名刺を受け取ります。名刺の排出可能枚数は標準紙で 250 枚までです。
(用紙厚 0.25mm 以下の場合)
- (8) **用紙スタッカ (CX 650 の場合)**
印刷済みの用紙を受け取ります。

本体内部



- (1) **プリントヘッド**
プリントするためのノズルが装着されています。
- (2) **搬送ベルト**
用紙を高速で搬送します。紙粉やインクで汚れた場合は清掃してください。
- (3) **インクカートリッジ**
CX 670 は、左からイエロー (Y)、ライトマゼンタ (LM)、マゼンタ (M)、ライトシアン (LC)、シアン (C)、ブラック (Bk) の 6 色、CX 650 は、左からイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk) の 4 色のカートリッジがセットされています。
- (4) **フィーダカバー**
給紙部分に詰まった用紙を取り除くときに開きます。
- (5) **トレイ昇降スイッチ**
スイッチを押すと給紙トレイが自動で昇降します。
- (6) **サイド規制板 (奥) 切り替えレバー**
用紙の幅が 113mm を超えるときは左側 (L) に、113mm 以下の場合は右側 (S) にします。
- (7) **サイド規制板 (手前)**
用紙の幅に合わせて規制板の位置を調節します。
- (8) **PHS ユニットオープンハンドル**
PHS ユニットを開くときは解除位置に、閉じるときはロック位置にします。また、ロック位置になっていないと前ドアを閉じることができません。

操作パネル



- (1) **表示パネル**
プリンタの状態を表すメッセージや機能を表示します。
- (2) **【印刷可】ランプ（緑色）**
通常状態のとき点灯し、スリープ状態ではゆっくりと点滅します。
- (3) **【オンライン】ランプ（緑色）**
オンライン状態のとき点灯し、オフライン状態では消灯します。オフライン状態へ移行中は点滅します。
- (4) **【節電】キー**
通常状態（すぐに印刷できる状態）とスリープ状態（節電の状態）を切り替えます。スリープ状態から 1 秒程度押すと電源が入り、クリーニング後【印刷可】ランプが点灯して印刷できる状態になります。また、通常状態から 1 秒程度押すとプリントヘッドが保護され、スリープ状態になります。スリープ状態のときは【印刷可】ランプがゆっくり点滅します。

(5) **【オンライン】キー**

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。

オンライン：[オンライン] ランプが点灯し、コンピュータから印刷を行える状態です。

オフライン：[オンライン] ランプが消灯し、コンピュータからの指示や印刷データを受け付けない状態です。

印刷中に [オンライン] キーを押すと、それ以降コンピュータからの印刷データを受け付けなくなり印刷が一時停止します。再びキーを押すと印刷が再開します。

(6) **【印刷中止 / リセット】キー**

印刷中に押すと、ただちに印刷が中止され、印刷中のデータを破棄します。また、オフライン状態で3秒以上押すと、受信した印刷データを破棄します。

(7) **【ジョブ】ランプ（緑色）**

印刷データの受信中に点滅します。印刷を中断した場合など、印刷データが残っているときは点灯します。

(8) **【メッセージ】ランプ（オレンジ色）**

エラーが発生したときに点灯し、同時に表示パネルにもエラーメッセージが表示されます。サービスコールエラー発生時には点滅します。

(9) **◀【紙送り】キー**

PHS ユニット内で搬送を停止している用紙を排紙口に送るために押します。オフライン状態のときに、キーを押している間のみ用紙を搬送します。

(10) **【クリーニング】キー**

オフライン状態で押すと、プリントヘッドのクリーニングを行います。



禁止

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず故障の原因となります。
- 電源を切るときは、操作パネルの [節電] キーを押して、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。
- 印刷中に前ドアやフィーダカバーを開けると、エラーになり印刷が中断されます。また故障の原因になることがあります。
- PHS ユニットに無理な力を加えたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になったり印刷品質に悪影響を与えることがあります。また PHS ユニットはゆっくりと開閉してください。

オンラインとオフライン

[オンライン] キーを押すたびに「オンライン状態」と「オフライン状態」が切り替わります。

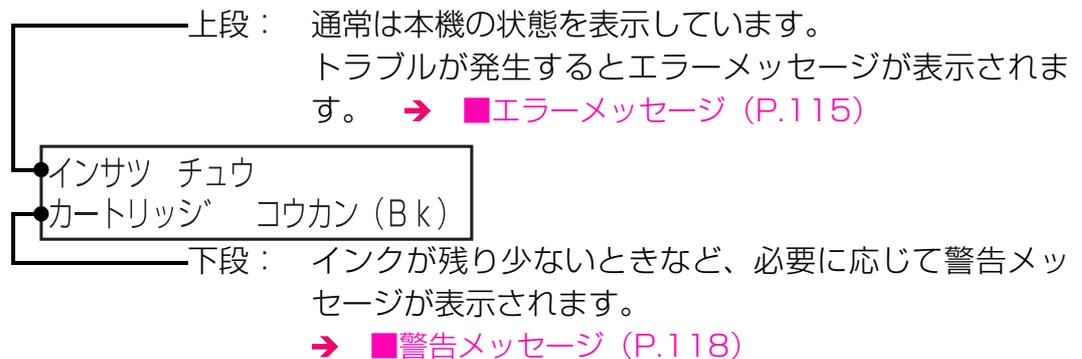
オンライン状態：コンピュータから印刷を行える状態です。オンラインランプが点灯します。

オフライン状態：コンピュータからの指示や印刷データを受け付けない状態です。オンラインランプが消灯します。

なお、印刷中に [オンライン] キーを押すと、それ以降コンピュータからの印刷データを受け付けなくなり、印刷が一時的に止まります。再び [オンライン] キーを押すと印刷が再開します。

表示パネル

表示パネルは、本機の動作状況を簡単なメッセージで伝えます。



- 複数の警告メッセージがあるときや、同時に複数のエラーが発生しているときは、1秒間ずつメッセージが入れ替わり表示されます。

本機の状態を示すメッセージ

シヨキカ チュウ

電源をオンにしたとき、クリーニング中に表示されます。同時に印刷可ランプが点滅します。しばらくお待ちください。

<p>インサツ カノウ</p>	<p>オンライン状態を表します。同時にオンラインランプが点灯し、印刷できる状態です。</p>
<p>オフライン</p>	<p>オフライン状態を表します。同時にオンラインランプが消灯し、印刷データを受け付けない状態です。</p>
<p>インサツ チュウ</p>	<p>印刷中です。</p>
<p>インサツ PAUSE</p>	<p>[オンライン] キーを押して印刷を一時停止した状態です。この状態では次の操作を行えます。</p> <p>[オンライン] キー 印刷を再開します。</p> <p>[印刷中止 / リセット] キー 印刷を終了します。</p> <p>[クリーニング] キー クリーニングを行います。</p>
<p>シャットダ ウン ショリ チュウ</p>	<p>[節電] キーによってスリープ状態へ移行するときに表示されます。</p>
<p>ジ ュシン チュウ</p>	<p>コンピュータから印刷データを受信中の状態です。同時に [ジョブ] ランプが点滅します。</p>
<p>テンカイ チュウ</p>	<p>印刷データが本機にある状態です。同時に [ジョブ] ランプが点灯します。</p>
<p>リセット</p>	<p>[印刷中止 / リセット] キーを 3 秒以上押して、データをクリアしている状態です。</p>
<p>クリーニング チュウ</p>	<p>クリーニング中です。</p>

1.2 コンピュータと接続する

本プリンタは USB2.0 のインタフェースに対応しています。



禁止

- USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源がオンでも抜き差しすることはできますが、次の場合はケーブルを抜き差ししないでください。正しく動作しなくなる場合があります。
 - ・コンピュータの起動中（デスクトップ画面が表示されるまでの間）
 - ・プリンタの印刷中
 - ・プリンタドライバのインストール中

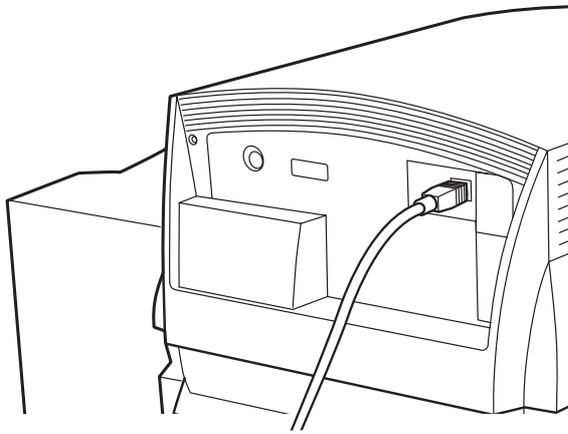
コンピュータやプリンタの電源がオンのときにケーブルを外す場合は、コンピュータ側のコネクタを抜くようにしてください。また、ケーブルを差し直す場合は、5 秒以上間隔を空けて差し込んでください。間隔が短いと正しく動作しない場合があります。



- 本製品にはケーブルは同梱されていません。お使いのコンピュータ、接続方法や長さに合わせて、市販のケーブルをご用意ください。
- ケーブルは、USB1.1 もしくは USB2.0 準拠の USB インタフェースケーブルをお使いください。

USB ケーブルで接続する

- 1 **プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。**
USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタ背面の USB コネクタへ接続し、次にコンピュータ側を接続します。



- 接続するコンピュータにプリンタドライバがインストールされていない場合は、USBケーブルを接続する前にプリンタドライバのインストールを行ってください。インストールの途中で画面の指示に従って、USB ケーブルを接続してください。

1.3 電源を入れる / 切る

本プリンタには、電源を完全にオフするメイン電源スイッチと、消費電力を最小限に抑えたスリープ状態に切り替える「節電」キーがあります。



- 電源のオン / オフは、異なる手順で操作すると、本機の作動に不具合を生じる場合がありますので、正しい手順で操作してください。

電源を入れる

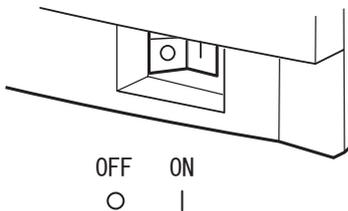
プリンタの電源を入れます。

1

メイン電源スイッチをオン（「|」の位置）にします。

クリーニングが行われ、印刷できる状態（通常状態）になります。

通常状態のときは、「印刷可」ランプが点灯します。



- プリンタがスリープ状態のときは、「節電」キーを押すと通常状態になります。なお、印刷を行う場合は、スリープ状態のまま、コンピュータから印刷データを送ると通常状態に切り替わり、印刷が開始されます。

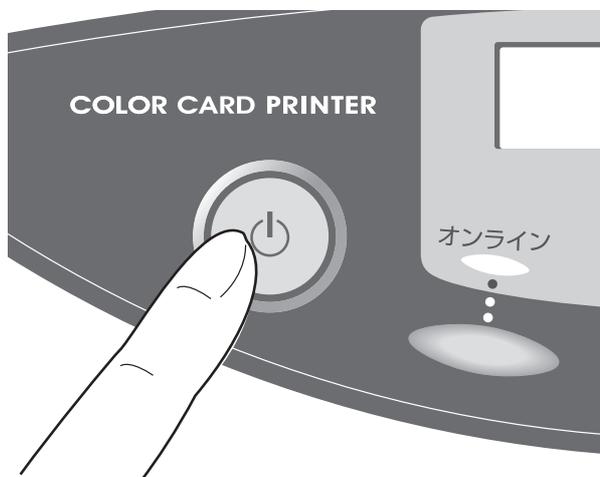
電源を切る（日常の終了）

メインの電源を切らずに、スリープ状態に切り替えて終了します。

1

【節電】 キーを押します。

[印刷可] ランプがゆっくり点滅して、スリープ状態になります。



- スリープ状態に切り替える操作を行わなくても、印刷を行わずに一定の時間が経過した場合に、自動的にスリープ状態に切り替わります。切り替え時間は、プリンタドライバのプロパティにある [ユーティリティ] シートの [スリープタイマ設定] で 1 分～ 60 分に設定できます。
[スリープタイマ設定] の初期状態は、2 分に設定されています。

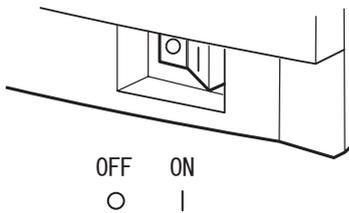
→ [スリープタイマの設定時間を変更する \(P.80\)](#)

電源を完全に切る

プリンタを長期間使用しない場合や、移動などで電源コードを外す場合は、プリンタの電源を完全にオフします。

- 1 **[印刷可]** ランプがゆっくり点滅していること（スリープ状態）を確認します。
[印刷可] ランプが点灯（通常状態）している場合は、[節電] キーを押します。

- 2 **メイン電源スイッチをオフ（「○」の位置）にします。**



禁止

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず故障の原因となります。
- 電源を完全に切る場合は、[節電] キーを押して、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。

1.4 用紙をセットする

用紙のセットのしかたを説明します。



- 用紙はカラーカードプリンタ専用紙を使用することをお奨めします。カラーカードプリンタ専用紙以外の用紙を使用した場合、紙づまり、画像不良（定着不良、画像のにじみ、バーコード品質不良など）など、プリンタの性能を維持できなかったり、故障の原因となる場合があります。

使用できる用紙の種類は次のとおりです。

- **マットコート紙**
通常の印刷用紙のように幅広い用途に使用できる無光沢の用紙で、本プリンタの標準紙です。
 - **光沢紙**
光沢性を有する用紙です。
 - **インクジェットはがき**
はがき裏面（文面）が、インクジェットプリンタでの印刷に適した加工を施されているはがきです。
 - **封筒**
封筒用紙です。
- 用紙についての詳細や用紙の入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

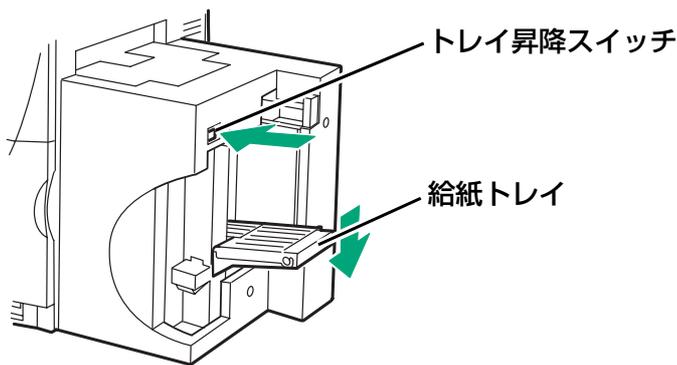
お使いになる前に

1 **【印刷可】ランプが点灯していることを確認します。**
電源が完全に切れている場合はメイン電源スイッチを、スリープ状態になっているときは「節電」キーを押してください。

2 **【オンライン】キーを押します。**
表示パネルに“オフライン”と表示されます。



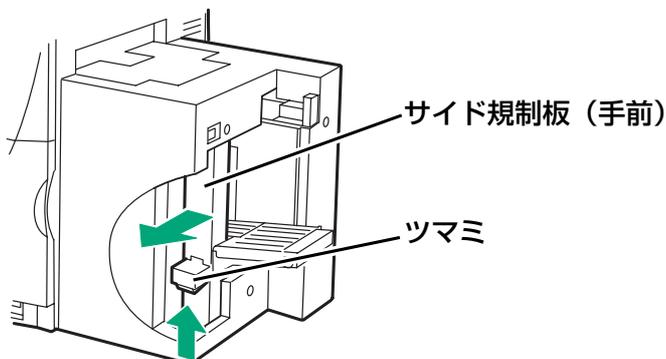
3 **トレイ昇降スイッチを押します。**
給紙トレイが自動的に下がりますので、停止するまでお待ちください。



注意

- 給紙トレイが動作しているときは、トレイに触れないでください。また、トレイ下部に手を入れたり、物を置いたりしないでください。けがや故障の原因になります。

4 **サイド規制板（手前）を、つまみを押し上げながら手前いっぱいまで移動します。**



5

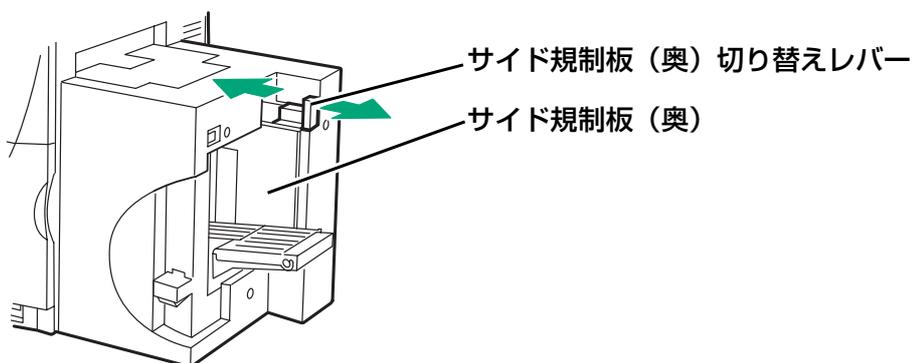
サイド規制板（奥）切り替えレバーを用紙幅に合わせて切り替えます。

用紙の幅が 113mm を超える用紙を使うときにだけレバーを左側（L）にし、それ以外は右側（S）にしておきます。

L：Large サイズ（113mm 超）

S：Small サイズ（113mm 以下）

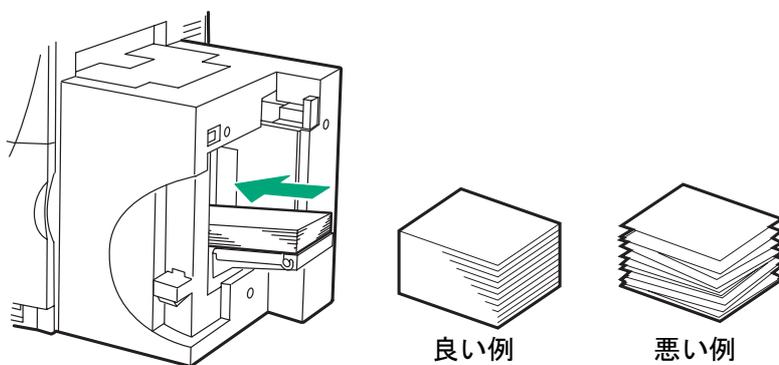
用紙の幅 113mm は、スケールシールで確認できます。



6

用紙をトレイにセットします。

用紙は、サイド規制板（奥）とトレイの奥に突き当たるように、そろえてセットしてください。



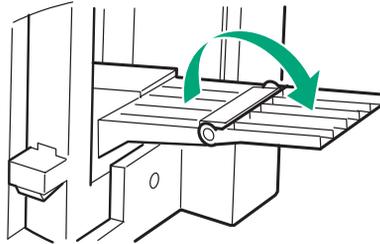
禁止

- 封筒の裏面には印刷しないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。
- インクジェットはがきの表面（宛名面）には印刷しないでください。印字不良の原因となります。

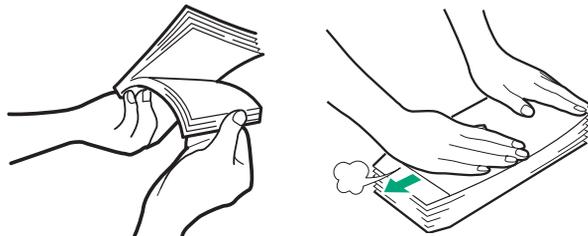
お使いになる前に



- 封筒をセットするとき
封筒をセットするときは、折りたたまれているトレイを展開してください。

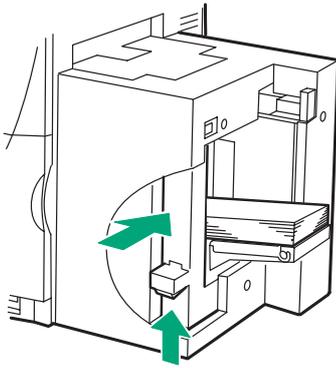


- 洋形の封筒は、ふた（封かん部）を閉じた状態で、サイド規制板（奥）に向けて、表面（宛名面）を上にしてセットしてください。
長形の封筒は、ふた（封かん部）を開いた状態で、右側に向けて、表面（宛名面）を上にしてセットしてください。
- トレイには以下の枚数までセットできます。
名刺やはがきの場合：500 枚（用紙厚 0.25mm 以下で、オートスタッカ使用時）
250 枚（用紙厚 0.25mm 以下で、名刺ホルダ使用時）
特厚紙カードの場合：100 枚（用紙厚 0.76mm）
封筒の場合：100 枚
用紙束の高さが積載制限マークの矢印を超えていないことを確認してください。
給紙時に不具合が発生した場合は、積載枚数を減らしてください。
- 新しい用紙や、ふくらんでいる封筒をそのままセットすると、用紙がうまく送られないことがあります。新しい用紙は用紙の端部をよくさばいて、膨らんでいる封筒は押さえつけて封筒内の空気を追い出してからセットしてください。



- 用紙がカールしている場合は、平らになるように直してからセットしてください。

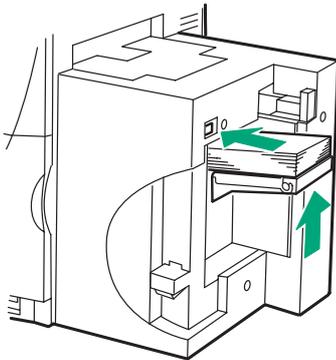
- 7** サイド規制板（手前）を、つまみを押し上げながら軽く用紙に突き当たる位置まで移動します。



禁止

- サイド規制板（手前）を用紙端面に強く押し付けないでください。紙づまりの原因となります。

- 8** **トレイ昇降スイッチを押します。**
給紙トレイが自動的に上がりますので、停止するまでお待ちください。

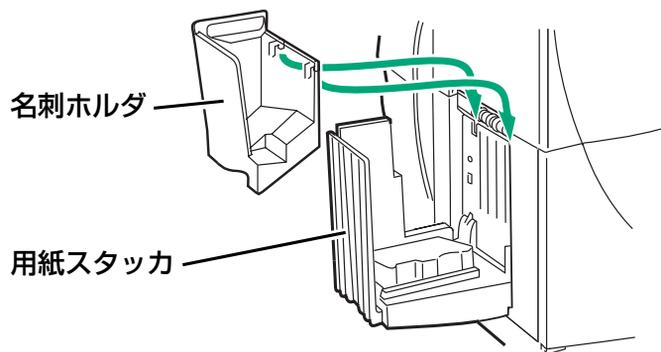


注意

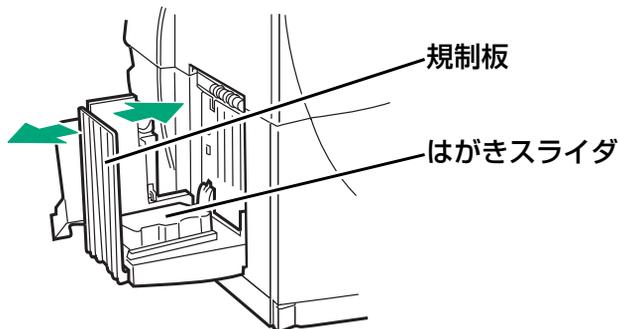
- 給紙トレイが動作しているときは、トレイに触れないでください。けがや故障の原因になります。

お使いになる前に

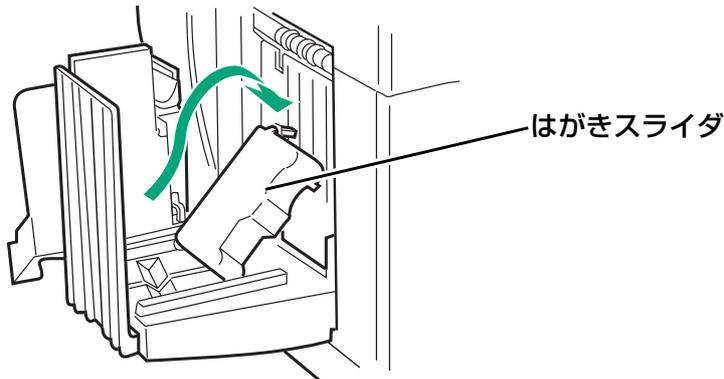
- 9 CX 650 をご使用の場合は、用紙に合わせて用紙スタッカを調節します。
- 名刺に印刷する場合：
 - 名刺ホルダを取り付けます。
 - 名刺ホルダのフックは、本体側取付溝内部の金属部分に確実に引掛けてください。
 - 名刺の排出可能枚数は標準紙で 250 枚です。(用紙厚 0.25mm 以下の場合)
 - 名刺ホルダが一杯になるまで連続して印刷した場合、印刷された用紙が詰まることがあります。印刷された用紙をこまめに取り除いてください。



- はがき・封筒に印刷する場合：
 - 名刺ホルダを取り外し、はがきスライダを水平にした状態にします。
 - また、用紙の長さに合わせて規制板の位置を調節します。



- はがきに高密度で印刷する場合：
インクが高密度になるような画像をはがきに印刷する場合はインクが乾きにくく用紙がカールするため、はがきスライダを本体に立てかけた状態にします。



禁止

- 用紙はカラーカードプリンタ専用紙を使用することをお奨めします。専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、プリンタ本体に悪影響を与え故障の原因となることがあります。
- 用紙を保管する場合は、用紙の変色等を防ぐために付属のビニール袋の中に入れて、直射日光に当たらない場所に保管してください。また、開封した用紙は、できるだけ短期間で使い切ることをお奨めします。
- 印字可能領域外には、印刷しないでください。
- 実際にセットした用紙と、プリンタドライバに設定されている用紙が、同じ用紙（サイズ）に設定されていることを確認してください。



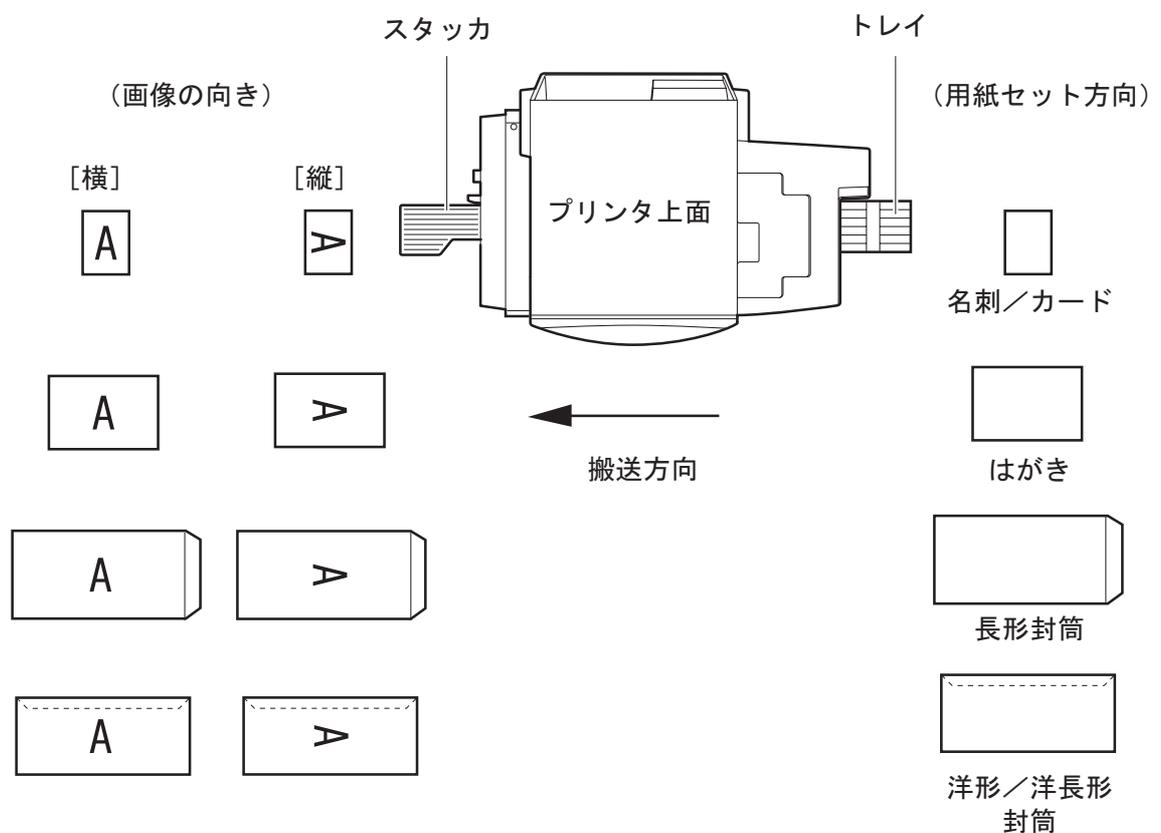
- オートスタッカをご使用の場合、インクが高密度になるような画像を印刷したときに、画像によってはスタックトレイへの積載がみだれる場合があります。紙詰まりの原因になりますので、印刷された用紙はこまめに取り除くことをお奨めします。
- 用紙がうまくセットされていなかった場合、印刷を開始した時点で表示パネルに"ヨウシ セット テンケン"というメッセージが表示され、印刷が中断します。
その場合は、トレイ昇降スイッチを押してトレイを下げて用紙を揃え、サイド規制板（手前 / 奥）を正しくセットし直し、再びトレイ昇降スイッチを押してください。エラーが解除され、印刷が開始されます。

■用紙の搬送方向と画像の向き

本プリンタでは、下図のように本体右側のトレイより給紙され、左側のスタッカに排紙されます。この際、用紙の種類によってセットの方向や画像の向きが異なりますので注意してください。

画像の向きをプリンタドライバのプロパティで、90°、180°、270°回転させることができます。

➔ 印刷の向きを選ぶ (P.60)



- 設定した印刷の向きについては、[用紙設定] シートのプレビュー表示で確認できます。
- アプリケーションソフトによっては、用紙の向きを独自に判断するものがありますので必ずテスト印刷をして確認してください。詳しくは、アプリケーションソフトの取扱説明書をご確認ください。

2

印刷のしかた

印刷の準備ができれば、各種のアプリケーションソフトなどで原稿を作成し、印刷を行います。

ここでは Windows 2000 で「ImageCreate II」を使用した印刷方法を例に説明しています。

2.1 印刷データの作りかた

本機で印刷する用紙は、次の手順で作成します。

1

[ファイル] メニューを開き、[用紙設定] を選びます。

[用紙設定] ダイアログボックスが表示されます。



2 プリンタ・用紙のリストから [Canon CX 670] または [Canon CX 650] を選びます。

用紙サイズがリスト表示されます。



3 目的の用紙サイズと用紙方向を選びます。



- 縦長の原稿の場合は [用紙方向] を [縦]、横長の原稿の場合は [横] を選びます。
- 印刷用紙の余白については、「用紙サイズを選ぶ」または「用紙サイズを自由に設定する」をご覧ください。
 - ➔ [用紙サイズを選ぶ \(P.54\)](#)
 - ➔ [用紙サイズを自由に設定する \(P.55\)](#)
- [プロパティ] をクリックすると、用紙の種類や色設定などの印刷設定を設定できます。詳しくは、「3 プリンタドライバの使いかた」をご覧ください。
 - ➔ [3 プリンタドライバの使いかた \(P.39\)](#)

4 [OK] をクリックします。

印刷設定ダイアログボックスが閉じます。

2.2 印刷を行う

原稿が作成できたら、アプリケーションソフトから印刷を開始します。



- お使いのアプリケーションソフトによって、印刷の手順や画面のボタン名などが異なります。お使いのアプリケーションソフトの説明書を併せてご覧ください。

1

アプリケーションソフトの【ファイル】メニューを開き、【印刷】を選びます。印刷のダイアログボックスが表示されます。



2

【選択プリンタ】が【Canon CX 670】または【Canon CX 650】になっていることを確認します。



- お使いのアプリケーションソフトによってプリンタの設定を行うボタン（【詳細設定】、【プロパティ】など）がある場合は、ここで用紙の種類や色設定などの印刷設定を行います。

3

印刷部数を指定します。

ここで指定した印刷部数は、印刷設定ダイアログボックスの設定よりも優先されます。

4

用紙の準備ができていることを確認し、[印刷] をクリックします。

印刷が開始されます。



- 目的に合わせて印刷の設定を変えたい場合は、「3 プリンタドライバの使いかた」をご覧ください。
→ [3 プリンタドライバの使いかた \(P.39\)](#)
- 用紙サイズ、印刷の向き、印刷部数など、アプリケーションソフトとプリンタドライバで同じ設定項目がある場合、アプリケーションソフトの設定の方が優先されることがあります。
- アプリケーションソフトの中で設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトだけで使用されます。いろいろなアプリケーションソフトで共通して使用する印刷設定は、Windows のコントロールパネルから設定してください。
→ [\[スタート\] メニューから表示する \(P.42\)](#)

2.3 印刷を中止する

コンピュータから印刷しているときに印刷を中止します。



禁 止

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず故障の原因となります。

操作パネルから印刷を中止する

操作パネルの [印刷中止 / リセット] キーを押して、印刷を中止することができます。

■ [印刷中止 / リセット] キーを押す

印刷が中止され、現在印刷中のジョブの印刷データを破棄します。

■ 上記の操作を行った後、[印刷中止 / リセット] キーを 3 秒以上押す

印刷が中止され、現在印刷中のジョブとプリンタにてデータ処理中または受信中のジョブの印刷データを破棄します。

コンピュータにてデータ処理中のジョブは破棄されません。



- [印刷中止 / リセット] キーを押した場合、プリンタはオフライン状態になります。印刷を再開する場合は、[オンライン] キーを押して、オンライン状態にしてください。

ステータスマニタから印刷を中止する

ステータスマニタの [印刷中止] をクリックして、印刷を中止することができます。

■ Canon CX 670 (または CX 650) Status Monitor ウィンドウ (ステータスマニタ) の [印刷中止] をクリックする

印刷が中止され、現在印刷中のジョブとプリンタにてデータ処理中または受信中のジョブ、およびコンピュータにてデータ処理中のすべての印刷データを破棄します。



- ステータスマニタが表示されていない場合は、タスクバーに最小化されているか、またはタスクトレイに入っています。それぞれクリックすると、ステータスマニタが表示されます。

→ 4.1 ステータスマニタを表示する (P.83)

- ステータスマニタ以外にも印刷キューウィンドウ (印刷データの順番が登録されるウィンドウ) で印刷を中止できます。詳しくは、Windows の説明書をご覧ください。



プリンタドライバの使いかた

プリンタドライバのダイアログボックスにある各項目の機能を説明します。

3.1 プリンタドライバのダイアログボックスを表示する

いろいろな印刷機能の設定を行う場合は、プリンタドライバの [プロパティ] または [印刷設定] ダイアログボックスを表示します。この [プロパティ] または [印刷設定] ダイアログボックスは、アプリケーションソフトから表示する方法と、Windows の [スタート] メニューから表示する方法があります。



- アプリケーションソフトから表示する [プロパティ] ダイアログボックスで設定した印刷設定は、そのアプリケーションソフトだけで使用されます。いろいろなアプリケーションソフトで共通して使用する印刷設定は、Windows の [スタート] メニューから表示する [印刷設定] ダイアログボックスで設定してください。

→ [スタート] メニューから表示する (P.42)

アプリケーションソフトから表示する

使用しているアプリケーションソフトから [プロパティ] ダイアログボックスを表示して設定を行います。

ここでは、Windows 2000 で「ImageCreate II」を使用した場合を例に説明しています。



- お使いのアプリケーションソフトによって、[プロパティ] ダイアログボックスの表示手順が異なります。お使いのアプリケーションソフトの説明書を併せてご覧ください。

プリンタドライバの使いかた

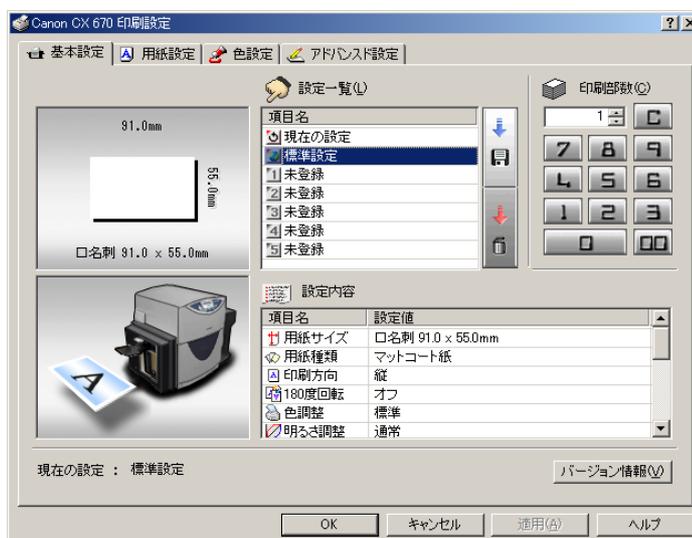
1 アプリケーションソフトの【ファイル】メニューを開き、印刷やレイアウトを設定する項目を選びます。

一般的には、【ファイル】メニューから「用紙設定」、「ページ設定」、「プリンタの設定」、「印刷」などを選択します。



2 使用するプリンタに「Canon CX 670」または「Canon CX 650」を選び、【プロパティ】ボタンをクリックして【Canon CX 670 のプロパティ】または【Canon CX 650 のプロパティ】ダイアログボックスを表示します。

一般的には、【プリンタ名】、【プリンタの選択】で「Canon CX 670」または「Canon CX 650」を選び、【プロパティ】、【詳細設定】などのボタンをクリックします。





- [プロパティ] ダイアログボックスの表示のしかたは、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは、アプリケーションソフトの説明書をご覧ください。



- プリントヘッドのクリーニングやプリンタのメンテナンスを行う場合は、Windows の [スタート] メニューからプリンタの [プロパティ] ダイアログボックスを表示します。アプリケーションソフトからは、メンテナンスを行う [ユーティリティ] シートが表示されません。

→ [スタート] メニューから表示する (P.42)

【スタート】メニューから表示する

Windows の [スタート] メニューから [プロパティ] または [印刷設定] ダイアログボックスを表示して、設定を行います。

アプリケーションソフトによらず共通の印刷設定を使用するために設定内容を登録する場合や、プリントヘッドのクリーニング、プリンタのメンテナンスを行う場合は、この方法で表示します。

1

Windows 7 の場合

[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックしてコントロールパネルを表示した後、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows Vista の場合

[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックしてコントロールパネルホームを表示した後、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] を選びます。

Windows XP の場合

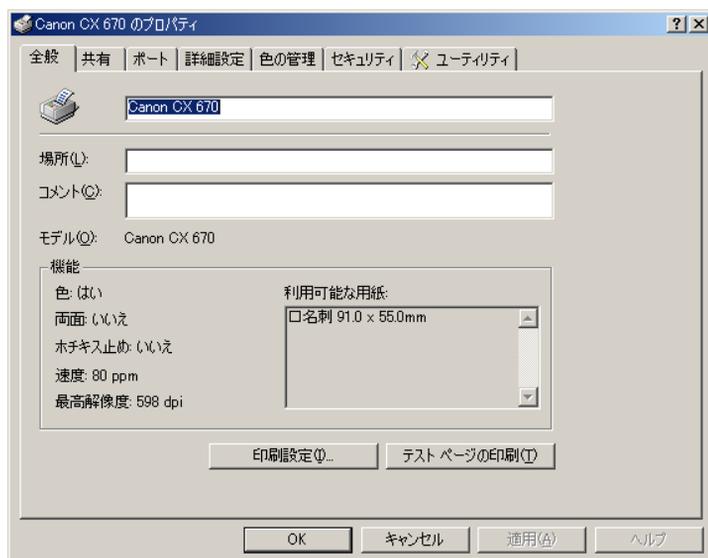
[スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] を選び、[プリンタと FAX] フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合

[スタート] をクリックし、[設定] から [プリンタ] を選び、[プリンタ] フォルダを表示します。

2 Canon CX 670 (または CX 650) プリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選びます。

[Canon CX 670 のプロパティ] または [Canon CX 650 のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

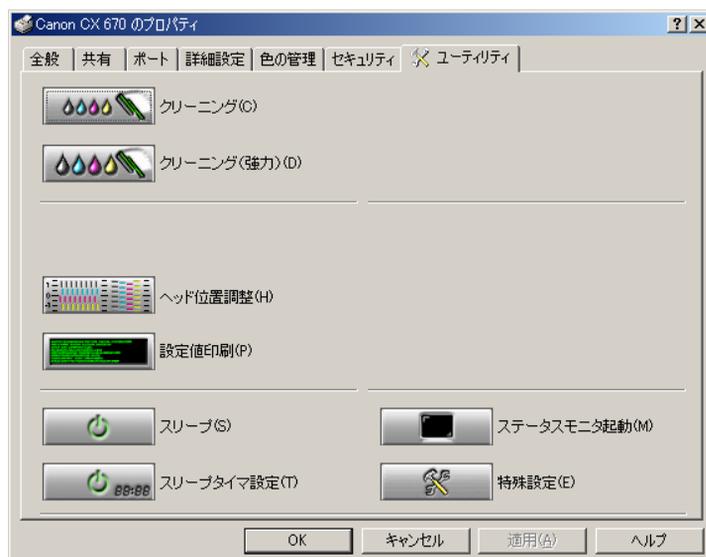


Windows 7/Windows Vista の場合

プリンタのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] を選びます。



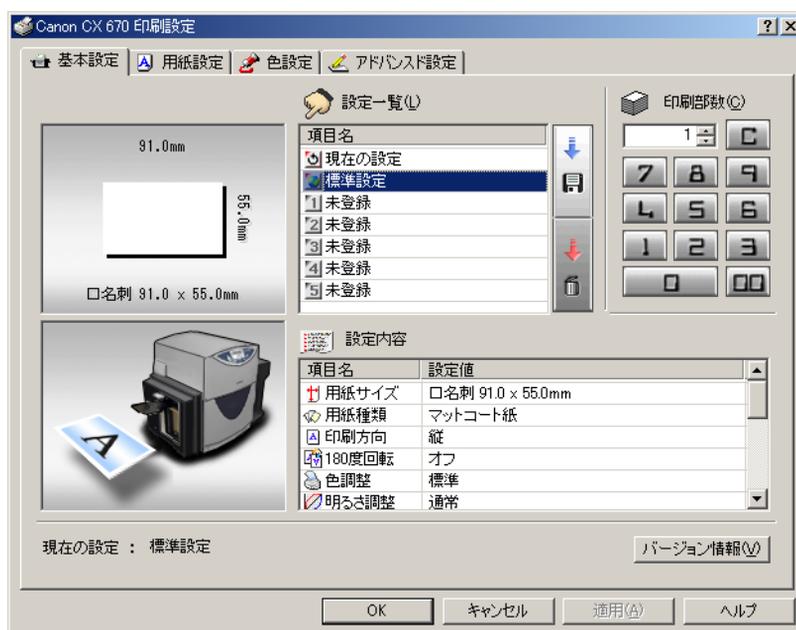
- ここで [ユーティリティ] タブをクリックして [ユーティリティ] シートを表示すると、プリントヘッドのクリーニングなどを行うことができます。



3

[全般] シートの **[印刷設定]** をクリックします。

[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。



- 印刷設定のみを行うときは、手順 2 で [ファイル] メニューの [印刷設定] を選ぶと [印刷設定] ダイアログボックスを直接表示できます。
Windows 7/Windows Vista の場合は、手順 2 でプリンタのアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選びます。

3.2 [基本設定] シートを利用する

[基本設定] シートでは、現在の設定内容をリストで確認できるほか、よく使用する印刷設定を登録して利用することができます。

また、印刷部数の設定ができます。



- (1) **設定一覧**
登録されている設定がリスト表示されます。
- (2) **用紙サイズのプレビュー**
現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。
- (3) **印刷の向きのプレビュー**
現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。
- (4) **登録 / 削除ボタン**
印刷設定の登録または削除を行います。
- (5) **印刷部数**
印刷部数を設定します。
- (6) **設定内容**
現在の印刷設定の内容が表示されます。
- (7) **バージョン情報ボタン**
プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



- アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の [スタート] メニューから [印刷設定] ダイアログボックスを開いてください。

→ [スタート] メニューから表示する (P.42)

印刷部数を決める

[印刷部数] では、原稿を印刷する部数を設定します。部数は、1 ~ 9999 部の範囲で設定できます。

部数は次の 2 つの方法で設定できます。

■ 表示ボタンで入力する

ダイアログボックスの [1] ~ [9] および [0]、[00] をクリックします。



入力を間違えた場合は、[C] をクリックします。部数が「1」に戻り、再入力できます。また、入力ボックスの右にある 、 ボタンをクリックすると、現在の部数から 1 部ずつ増減できます。

■ キーボードから入力する

部数をキーボードから入力します。

キーボードの [1] ~ [9]、[0] キーを使用し、半角入力で部数を設定します。

なお、キーボードでは、数字キーのほかに [Delete] (全桁をクリア)、[BackSpace] (1 桁ずつクリア) などのキーが使用できます。



- キーボードから部数を入力するときは、[印刷部数] の入力ボックスをクリックする必要はありません。[基本設定] シートが表示されているときはいつでも数字キーなどを押すだけで印刷部数を入力できます。

印刷設定を登録する

よく使う印刷設定は、最大5つまで登録しておくことができます。登録した印刷設定は、リストから選ぶだけで読み込まれ、いつでも同じ設定で印刷することが可能です。



- 登録できる項目は、[用紙設定] シート、[色設定] シートおよび [アドバンスド設定] シートの項目です。
ただし、用紙サイズで [ユーザ定義] を選んだ場合、用紙の幅と長さの数値は登録されません。このため、ユーザ定義サイズを登録時と異なる数値に変更している場合は、印刷結果が異なりますので注意してください。
- アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、設定の登録や削除ができません。設定の登録や削除を行う場合は、Windows の [スタート] メニューから [印刷設定] ダイアログボックスを開いてください。

→ [スタート] メニューから表示する (P.42)

1 [用紙設定] シート、[色設定] シートおよび [アドバンスド設定] シートで登録する内容を設定します。

[用紙設定] タブ、[色設定] タブ、[アドバンスド設定] タブをクリックし、それぞれのシートを表示して設定を行ってください。

2 [基本設定] シートに戻ります。

[設定一覧] で [現在の設定] が選ばれていることを確認してください。



- [設定一覧] で [標準設定] をクリックすると、設定した内容は全て標準の状態に戻ります。

プリンタドライバの使いかた

3

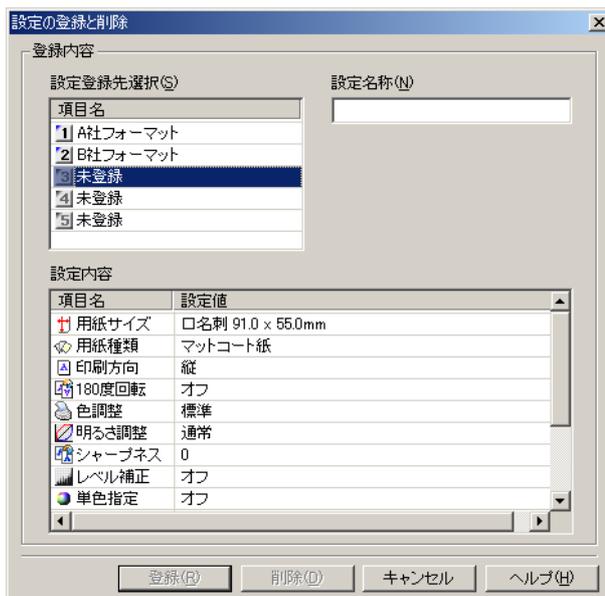
【登録 / 削除】 をクリックします。

【設定の登録と削除】 ダイアログボックスが表示されます。



4

【設定登録先選択】 のリストから登録先を選び、クリックします。



- 既に登録されている場所を登録先を選んだ場合、以前の設定に上書きされます。また、【現在の設定】、【標準設定】 の位置には登録できません。

- 5 **【設定名称】** のボックスに設定の名前を入力します。
名前は半角、全角ともに 16 文字まで入力できます。



- 名前の入力には省略できません。また、名前にはスペースやタブは使用できません。

- 6 **【設定内容】** の内容を確認し、**【登録】** をクリックします。
登録確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



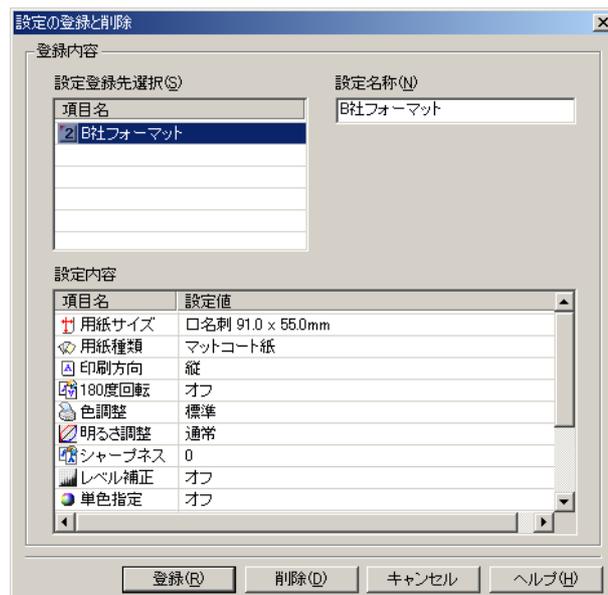
7

【はい】 をクリックします。

【設定一覧】 に印刷設定が登録されます。



- 登録されている印刷設定の名前を変更する場合は、【設定一覧】 で変更したい項目名を選び、【登録 / 削除】 をクリックします。【設定の登録と削除】 ダイアログボックスの【設定名称】 で名前を変更し、【登録】 をクリックしてください。
- 登録されている印刷設定を削除する場合は、【設定一覧】 で削除したい項目名を選び、【登録 / 削除】 をクリックします。【設定の登録と削除】 ダイアログボックスの【設定登録先選択】 に削除する設定が表示されるので、確認して【削除】 をクリックしてください。【設定一覧】 の項目名が「未登録」に戻ります。



登録されている印刷設定を使う

登録されている印刷設定を使って印刷することができます。
登録されている印刷設定は、リストから選ぶだけで読み込まれるので、いつでも目的に合った印刷設定で印刷を行えます。



- 用紙サイズで [ユーザ定義] が設定されている印刷設定を選んだ場合、用紙の幅と長さの数値を確認してください。ユーザ定義サイズが登録時と異なる数値に変更している場合は、印刷結果が異なりますので注意してください。

1

【設定一覧】 から使用する印刷設定を選び、クリックします。
印刷設定が読み込まれます。



- [未登録] の項目を選んだ場合、設定は変化しません。
- [標準設定] を選ぶと、プリンタドライバをインストールしたときの状態 (なにも設定を変更していない状態) に戻ります。

標準設定では、次のような設定状態になります。

シート名	項目	設定
基本設定	印刷部数	1
	設定一覧	標準設定
用紙設定	用紙サイズ	<input type="checkbox"/> 名刺 91.0 x 55.0mm
	用紙種類	マットコート紙
	印刷の向き	縦、180度回転なし
色設定	色調整	標準
	明るさ調整	通常
	シャープネス	0
	レベル補正	オフ
	単色指定	オフ
	カラーバランス*	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック がすべて0
	濃度*	0
アドバンス ド設定	ハーフトーン処理*	精細誤差拡散
	割り付け印刷	しない
	枠線印刷	オフ
	印刷順	昇順
	給紙間隔	0sec
	オーバーレイ	オフ

*：[詳細設定] ダイアログボックスの項目です。

バージョン情報を確認する

プリンタドライバのバージョンや著作権などの情報を確認できます。
[バージョン情報] をクリックすると、[バージョン情報] ダイアログボックスが表示
されます。

3.3 【用紙設定】 シートを利用する

【用紙設定】シートでは、用紙のサイズや向きなど、用紙に関する設定を行えます。



- (1) **用紙サイズのプレビュー**
現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。
- (2) **印刷の向きのプレビュー**
現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。
- (3) **用紙サイズ**
用紙サイズを設定します。
- (4) **サイズ変更ボタン**
ユーザ定義の用紙サイズを設定します。
- (5) **用紙種類**
用紙の種類を設定します。
- (6) **印刷の向き**
用紙に対する印刷の向きを設定します。
- (7) **標準に戻すボタン**
用紙設定を標準の設定に戻します。

プリンタドライバの使いかた



- アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、ユーザ定義サイズの設定ができません。ユーザ定義サイズを設定する場合は、Windows の [スタート] メニューから [印刷設定] ダイアログボックスを開いてください。

→ [スタート] メニューから表示する (P.42)

用紙サイズを選ぶ

[用紙サイズ] では、印刷する用紙のサイズを選びます。

標準的な 8 種類の用紙サイズから選べるほか、独自の用紙サイズを 5 種類まで登録して利用できます。

[用紙サイズ] は、次の中から選べます。



標準用紙

標準的な 8 種類の用紙サイズがあらかじめ登録されています。

用紙サイズの名称	サイズ (幅×長さ)mm	余白量 mm			
		上余白	下余白	左余白	右余白
名刺	91.0 x 55.0	1.5	1.5	2.0	2.0
カード	85.6 x 54.0	1.5	1.5	2.0	2.0
カード (特厚紙)	85.6 x 54.0	1.5	1.5	2.0	2.0
はがき	100.0 x 148.0	1.5	1.5	2.0	2.0
洋形 4 号	105.0 x 235.0	1.5	1.5	2.0	2.0
洋形 2 号	114.0 x 162.0	1.5	1.5	9.0	3.0
長形 3 号	120.0 x 235.0	1.5	1.5	9.0	9.0
洋長形 3 号	120.0 x 235.0	1.5	1.5	9.0	9.0

【□ユーザ定義 1】～【□ユーザ定義 5】

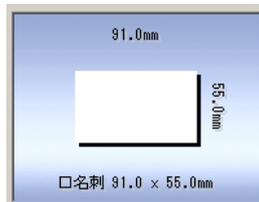
登録されている用紙サイズ（[ユーザ定義] のサイズ）を使用します。

[ユーザ定義] の用紙サイズを使用するには、[サイズ変更] ボタンを押して [ユーザ定義サイズ] ダイアログボックスを開いて、用紙サイズを登録しておく必要があります。

➔ [用紙サイズを自由に設定する \(P.55\)](#)



- 現在の用紙サイズは、プレビュー表示で確認できます。



用紙サイズを自由に設定する

印刷する用紙のサイズが [用紙サイズ] にない場合は、幅や長さを自由に設定した用紙サイズを登録しておきます。用紙サイズの登録は [ユーザ定義] に 5 種類まで登録できます。



- ユーザ定義サイズで設定した数値（幅や長さ）は、印刷設定に登録されません。登録した印刷設定を共用するとき、ユーザ定義サイズが設定されている場合は、用紙の幅と長さが正しいか確認することをお奨めします。

1 [用紙サイズ] の 【□ユーザ定義 1】～【□ユーザ定義 5】の中から、用紙サイズを登録する名称を選びます。



2

【サイズ変更】 をクリックします。

【ユーザ定義サイズ】 ダイアログボックスが表示されます。



3

新しい用紙の情報を入力します。

【用紙の名称】

新しい用紙の名称を入力します。

名称は半角、全角ともに 15 文字まで入力できます。

【用紙の形状】

新しい用紙の形状を選択します。

用紙の形状は次の 3 種類から選択します。

【カード】

紙厚 0.21mm ~ 0.37mm

【厚紙】

紙厚 0.76mm

【封筒】

最大総紙厚 0.28mm ~ 0.32mm

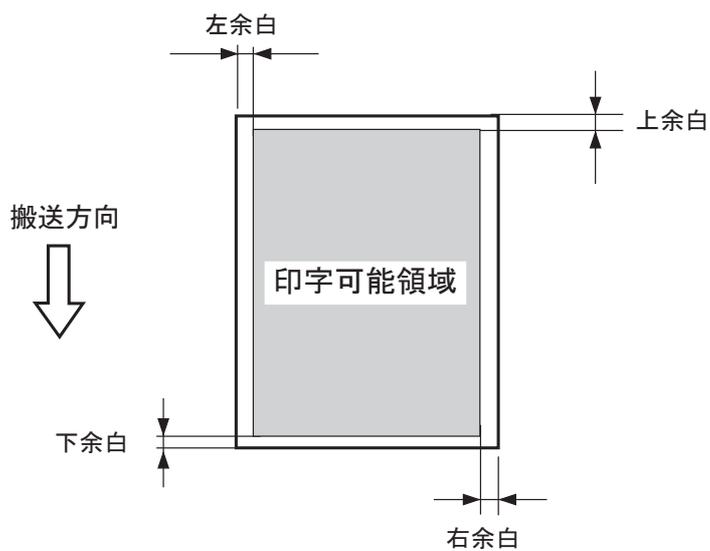
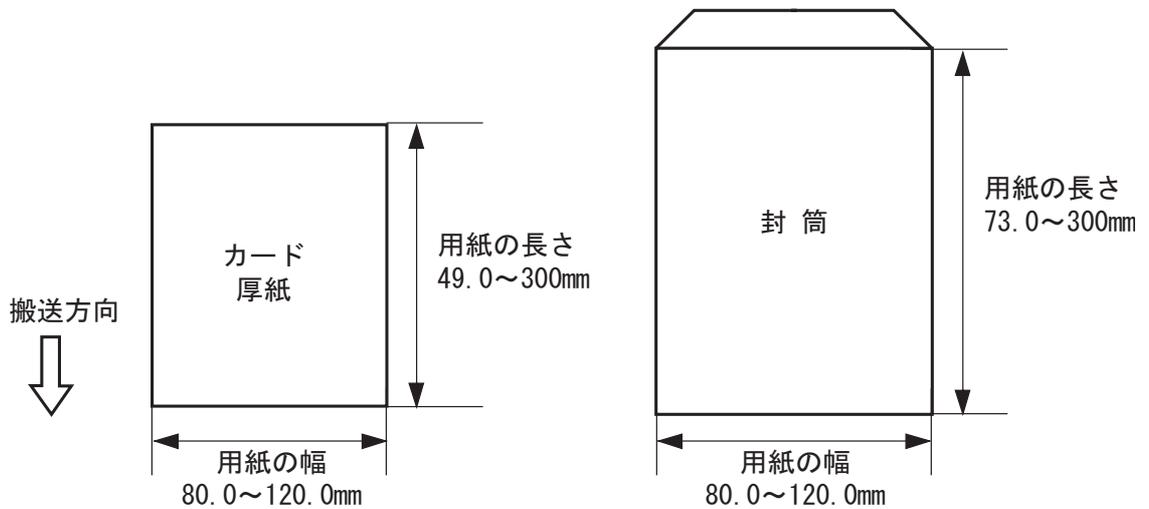
[表示単位]

入力する数値の単位を、[mm] か [inch] のどちらかを選択します。

[用紙のサイズ]

入力できる用紙のサイズは、[用紙の形状] によって異なります。

次の表に示す範囲の中で入力してください。



		カード / 厚紙		封筒	
		最小値	最大値	最小値	最大値
用紙の幅 mm (inch)		80.0 (3.15)	120.0 (4.72)	80.0 (3.15)	120.0 (4.72)
用紙の長さ mm (inch)		49.0 (1.93)	300.0 (11.81)	73.0 (2.87)	300.0 (11.81)
上余白 mm (inch)		1.5 (0.06)	用紙長 - 10.0 (0.39) - 下余白	1.5 (0.06)	用紙長 - 10.0 (0.39) - 下余白
下余白 mm (inch)		1.5 (0.06)	用紙長 - 10.0 (0.39) - 上余白	1.5 (0.06)	用紙長 - 10.0 (0.39) - 上余白
左余白 mm (inch)	用紙幅 ≤ 113	2.0 (0.08)	用紙幅 - 10.0 (0.39) - 右余白	2.0 (0.08)	用紙幅 - 10.0 (0.39) - 右余白
	113 < 用紙幅	9.0 (0.35)		9.0 (0.35)	
右余白 mm (inch)	用紙幅 ≤ 106	2.0 (0.08)	用紙幅 - 10.0 (0.39) - 左余白	2.0 (0.08)	用紙幅 - 10.0 (0.39) - 左余白
	106 < 用紙幅 ≤ 113	用紙幅 - 104 (4.09)		用紙幅 - 104 (4.09)	
	113 < 用紙幅	用紙幅 - 111 (4.37)		用紙幅 - 111 (4.37)	

4

[OK] をクリックします。

ユーザ定義サイズが登録されます。

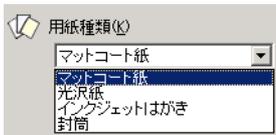


- 用紙の幅と長さを標準サイズ（はがきサイズ）に戻す場合は、[標準に戻す] をクリックします。なお、[用紙設定] シートの [標準に戻す] をクリックしても用紙定義サイズは標準サイズに戻りません。

用紙の種類を選ぶ

[用紙種類] では、印刷する用紙の種類を選びます。

[用紙種類] は、次の中から選べます。



【マットコート紙】

マットコート紙を使用します。

【光沢紙】

光沢紙を使用します。

【インクジェットはがき】

インクジェットはがきを使用します。

【封筒】

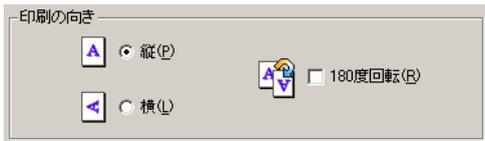
封筒を使用します。



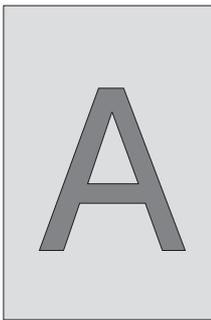
- [用紙種類] で、本機にセットされた用紙と異なる種類を選んだ場合、正しい印刷結果が得られない場合がありますので注意してください。

印刷の向きを選ぶ

【印刷の向き】では、原稿の印刷する向きを選びます。

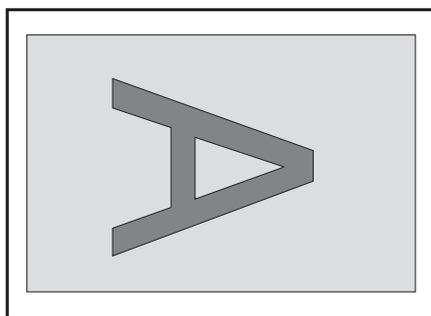


各設定の説明では、以下の原稿を印刷した場合の印刷結果を表わしています。



【縦】

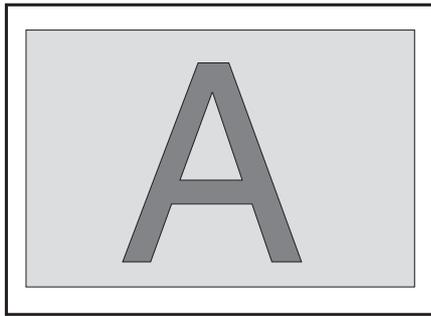
用紙の送り方向に対して、原稿を 90° 右に回転させて印刷するときに選びます。



←
用紙の送り方向

[横]

用紙の送り方向に対して、原稿を水平にして印刷するときを選びます。



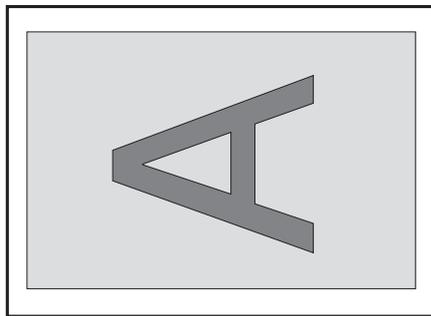
←
用紙の送り方向

[180度回転]

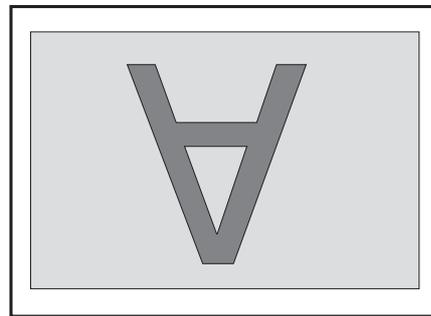
[縦] または [横] で設定した原稿を 180 度回転して印刷する場合にチェックをつけます。

縦 / 180 度回転

横 / 180 度回転



←
用紙の送り方向

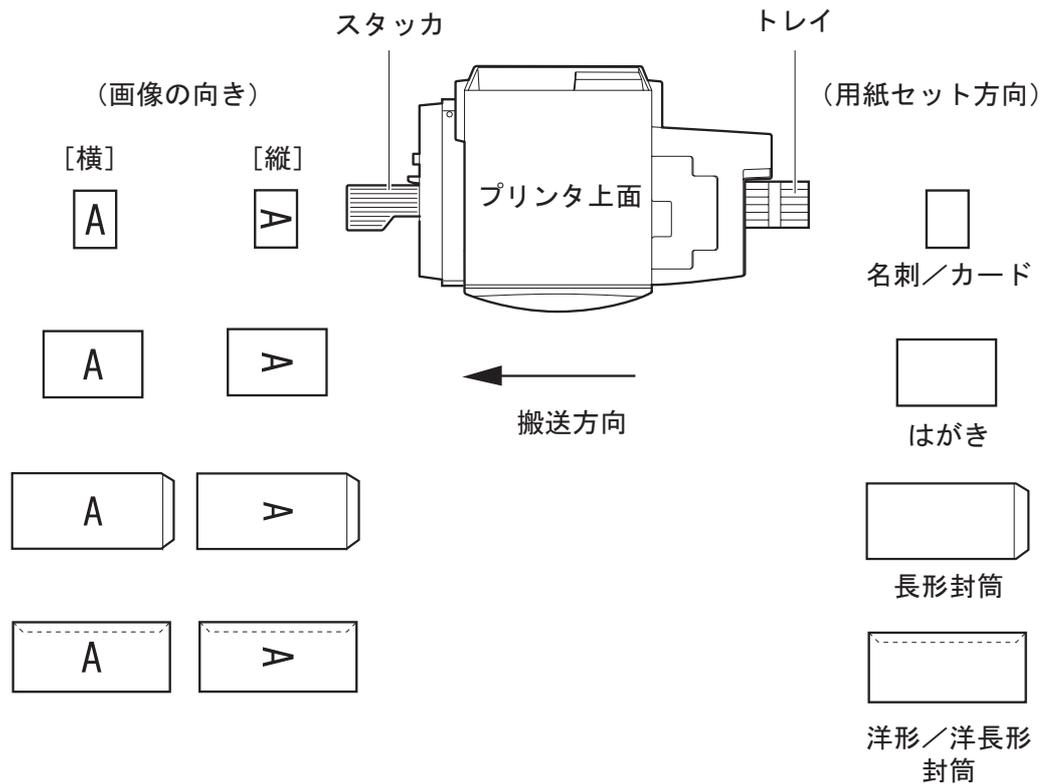


←
用紙の送り方向

プリンタドライバの使いかた



- 用紙の送り方向は、プリンタに対して次のようになります。



- 現在の印刷の向きは、プレビュー表示で確認できます。



3.4 [色設定] シートを利用する

[色設定] シートでは、印刷するときの画質や色に関する設定を行えます。

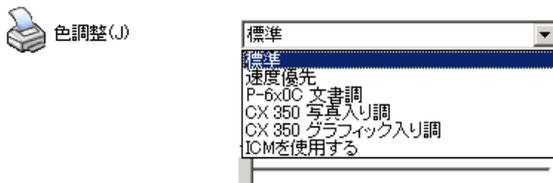


- (1) **標準設定での出力イメージ**
標準の色設定で印刷したイメージがプレビュー表示されます。
- (2) **設定変更後の出力イメージ**
現在の色設定で印刷したイメージがプレビュー表示されます。
- (3) **色調整**
原稿に応じた色合いの調整を行います。
- (4) **明るさ調整**
原稿の明るさを調整します。
- (5) **シャープネス**
原稿をくっきり見せる処理を設定します。
- (6) **レベル補正**
原稿のコントラストの調整を行います。
- (7) **単色指定**
原稿を単色で印刷する設定を行います。
- (8) **標準に戻すボタン**
色設定を標準の設定に戻します。
- (9) **詳細設定ボタン**
原稿のカラーバランスや濃度の調整を行います。

原稿に合った色調整を選ぶ

[色調整] では、原稿の内容に合った色合いの調整を行います。風景写真や人物画を印刷するときは [色調整] の [標準] を選びます。文字やイラスト、コンピュータグラフィックスなどを印刷するときは [P-6x0C 文書調] を選びます。また、Canon CX 350 プリンタで印刷したときの色合いに近づけることもできます。

[色調整] は、次の 6 項目から選べます。



【標準】

本機で標準となる色調整を行います。

Canon P-6x0 シリーズプリンタのプリンタドライバでの [オートパレット] シート内の [デジカメ] の設定に合わせた色調整を行います。

写真画像入りの印刷をする場合に選びます。

【速度優先】

色合いよりも、印刷速度を優先した調整を行います。印刷内容によらず、速く印刷したい場合に選びます。

【P-6x0C 文書調】

Canon P-6x0 シリーズプリンタのプリンタドライバでの [オートパレット] シート内の [文書] の設定に合わせた色調整を行います。

グラフィック画像の印刷をする場合に選びます。

【CX 350 写真入り調】

Canon CX 350 プリンタに合わせた色調整を行います。

写真画像入りの印刷をする場合に選びます。

【CX 350 グラフィック入り調】

Canon CX 350 プリンタに合わせた色調整を行います。

グラフィック画像の印刷をする場合に選びます。

【ICM を使用する】

Windows の色補正機能である ICM (Image Color Management) を使用して色の補正を行います。



- Canon P-6x0 シリーズプリンタには、Canon P-640C/660C/660C II があります。
- 印刷内容に写真とグラフィックの両方が含まれている場合は、[標準] を選んでください。また、印刷内容が文字だけの場合は、[P-6x0C 文書調] を選んでください。
- [色調整] で [ICM を使用する] を選んだ場合、[明るさ調整] はグレー表示になり、設定は無効になります。

明るさを調整する

[明るさ調整] では、印刷した結果を見て、全体的に暗すぎたり、明るすぎたりする場合は、明るさを調整します。

この調整では、もっとも暗い部分と明るい部分の濃淡は変えずに、中間色の明るさを調整できます。

[明るさ調整] は、次の3つから選べます。



[明るく]

印刷内容を明るく印刷します。

印刷結果が暗く感じた場合に選びます。

[通常]

通常の明るさで印刷します。

最初はこの設定で印刷し、印刷結果を見て必要に応じて [明るく] または [暗く] を選んでください。

[暗く]

印刷内容を暗く印刷します。

印刷結果が明るすぎると感じた場合に選びます。



- [色調整] で [ICM を使用する] を選んだ場合、[明るさ調整] はグレー表示になり、設定できません。

シャープネスをかける

[シャープネス] では、印刷した結果を見て、全体的にぼやけていると感じた場合に、シャープネス処理を行ってくっきり見せることができます。

シャープネスは、スライダをドラッグし、0（左端）～3（右端）の4段階から選べます。



[0]

シャープネスを使用しません。

[1～3]

シャープネスの処理を行います。

数字が大きくなるほど、効果が大きく現れます。

レベル補正を行う

[レベル補正] は、印刷した結果を見て、コントラストが弱い（明暗にメリハリがない）と感じた場合に、コントラストを強くなるように補正をかけます。レベル補正を行うと、原稿の明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗く印刷されます。

レベル補正を行う場合は、[レベル補正] チェックボックスをクリックし、チェックをつけます。

レベル補正が必要ない場合は、チェックを外します。



単色で印刷する

[単色指定] では、カラーの原稿を単色にして印刷できます。

単色で印刷する場合は、[単色指定] チェックボックスをクリックし、使用する色を選んでチェックをつけます。

単色の指定を解除する場合は、[単色指定] のチェックを外します。



[ゼブラ]

印刷内容を黒白で印刷します。

ブラックインクだけを使って印刷します。

[アッシュ]

印刷内容をグレー系の単色で印刷します。

[ゼブラ] と違い、すべてのインクを使って印刷します。

[ローズ]

印刷内容を赤色系の単色で印刷します。

[ゼブラ] と違い、すべてのインクを使って印刷します。

[サンセット]

印刷内容を紫色系の単色で印刷します。

[ゼブラ] と違い、すべてのインクを使って印刷します。

[オーシャン]

印刷内容を青色系の単色で印刷します。

[ゼブラ] と違い、すべてのインクを使って印刷します。

[フォレスト]

印刷内容を緑色系の単色で印刷します。

[ゼブラ] と違い、すべてのインクを使って印刷します。

[シャウト]

印刷内容を黄色系の単色で印刷します。

[ゼブラ] と違い、すべてのインクを使って印刷します。

プリンタドライバの使いかた

【ノスタルジー】

印刷内容をセピア色系の単色で印刷します。

【ゼブラ】と違い、すべてのインクを使って印刷します。



- 【ゼブラ】を選んだ場合、【詳細設定】はグレー表示になり、使用できません。
- 【単色指定】チェックボックスのチェックを外すと、単色設定値はすべてグレー表示になり、使用できません。

カラーバランスや濃度を調整する

【カラーバランス】では、カラーバランス（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各色の濃度）や濃度（全体の濃度）の調整およびハーフトーン処理を設定できます。

1

【詳細設定】をクリックします。

【詳細設定】ダイアログボックスが表示されます。



2

【カラーバランス】のシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのスライダをドラッグし、濃度を決めます。

濃度は-50～+50の範囲で設定できます。

中央が標準（0）の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。



- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。また、スライダーの両端のボタンをクリックすると、現在の設定値から 1 ずつ増減します。

3

【濃度】のスライダをドラッグし、全体の濃度を決めます。

濃度は - 50 ~ +50 の範囲で設定できます。

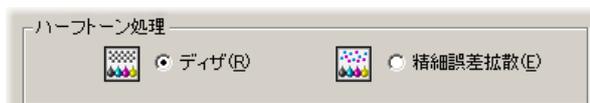
中央が標準 (0) の位置で、左にスライドさせるほど淡くなり、右にスライドさせるほど濃くなります。



- スライダーの左側の入力ボックスをクリックし、キーボードから設定値を入力することもできます。

4

ディザまたは精細誤差拡散のチェックボックスをクリックします。



【ディザ】

一定の法則に従ってドットを並べてハーフトーンを表現します。色の境界をくっきり見せたいグラフィックスなどの印刷に適しています。

【精細誤差拡散】

ドットをランダムに配置してハーフトーンを表現します。微妙なグラデーション表現が必要な写真やグラフィックスの印刷に適しています。

5

【OK】 をクリックします。

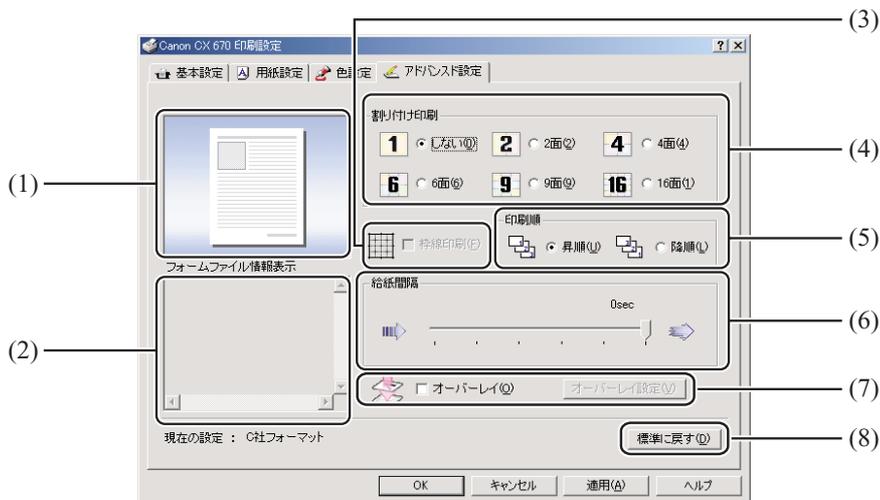
カラーバランスと濃度、ハーフトーン処理が設定されます。



- [単色指定] で [ゼブラ] を選んだ場合、[詳細設定] はグレー表示になり、使用できません。
- カラーバランスと濃度、ハーフトーン処理の設定を標準の設定に戻す場合は、[標準に戻す] をクリックします。

3.5 [アドバンスド設定] シートを利用する

[アドバンスド設定] シートでは、印刷するときのレイアウトやオーバーレイに関する設定を行えます。



- (1) **ページレイアウト**
印刷されるイメージがプレビュー表示されます。
- (2) **フォームファイル情報表示**
オーバーレイ印刷が設定されている場合に、フォームデータの印刷設定情報が表示されます。
- (3) **枠線印刷**
複数面の割り付け印刷を行うときに、ページの枠線を印刷する場合にチェックを入れます。
- (4) **割り付け印刷**
1 ページに割り付ける面数を設定します。
- (5) **印刷順**
印刷する順序を設定します。
- (6) **給紙間隔**
給紙する間隔を設定します。
- (7) **オーバーレイ**
オーバーレイを設定する場合にチェックを入れます。
- (8) **標準に戻すボタン**
アドバンスド設定を標準の設定に戻します。



- [Canon CX 670のプロパティ] または [Canon CX 650のプロパティ] ダイアログボックスの [詳細設定] シートで、[詳細な印刷機能を有効にする] のチェックがされていないと、[割り付け印刷]、[枠線印刷]、[印刷順] の設定が有効になりません。

割り付け印刷をする

1 ページに割り付ける面数を [しない]、[2 面]、[4 面]、[6 面]、[9 面]、[16 面] から選びます。



- 割り付け面数を選ぶとページレイアウトにイメージがプレビューされます。また、[用紙設定] シートの [用紙サイズ] で選択した用紙サイズによって、割り付け印刷のイメージが変化します。



プリンタドライバの使いかた

- [しない] を選んだ場合、[枠線印刷] はグレー表示になり、設定が行えず、枠線は印刷されません。
- [しない] 以外を選んだ場合、[印刷順] はグレー表示になり、設定が行えず、昇順で印刷されます。
- [Canon CX 670のプロパティ] または [Canon CX 650のプロパティ] ダイアログボックスの [詳細設定] シートで、[詳細な印刷機能を有効にする] のチェックがされていないと、設定が有効になりません。

枠線を印刷する

割り付け印刷をする場合に、面ごとの枠線を印刷することができます。割り付け印刷の面数を選んでから [枠線印刷] にチェックを入れると、ページレイアウトにイメージがプレビューされます。



- [割り付け印刷] で [しない] を選んだ場合、[枠線印刷] はグレー表示になり、設定が行えず、枠線は印刷されません。
- [Canon CX 670のプロパティ] または [Canon CX 650のプロパティ] ダイアログボックスの [詳細設定] シートで、[詳細な印刷機能を有効にする] のチェックがされていないと、設定が有効になりません。

印刷順を決める

印刷する順序をページの先頭からにするか最終ページからにするか決めます。先頭ページからにする場合には [昇順] を、最終ページからにする場合には [降順] を選びます。

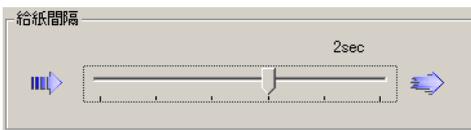


- [割り付け印刷] で [しない] 以外を選んだ場合、[印刷順] はグレー表示になり、設定が行えず、昇順で印刷されます。
- [Canon CX 670のプロパティ] または [Canon CX 650のプロパティ] ダイアログボックスの [詳細設定] シートで、[詳細な印刷機能を有効にする] のチェックがされていないと、設定が有効になりません。

給紙間隔を決める

給紙する間隔を設定して、印刷することができます。

スライダーを動かすことで、0sec(右端)～5sec(左端)の6段階に調節できます。



- 通常は一番右端の位置にレバーがあります。



オーバーレイ印刷をする

オーバーレイ印刷機能を使用すると、あらかじめ背景画像をフォームファイルとして作成しておき、印刷時に前景となる画像や文字と合成して印刷することができます。

- 1 **[オーバーレイ]** チェックボックスにチェックを入れると **[オーバーレイ設定]** が選べます。



- 2 **[オーバーレイ設定]** をクリックします。
[オーバーレイ設定] ダイアログボックスが表示されます。

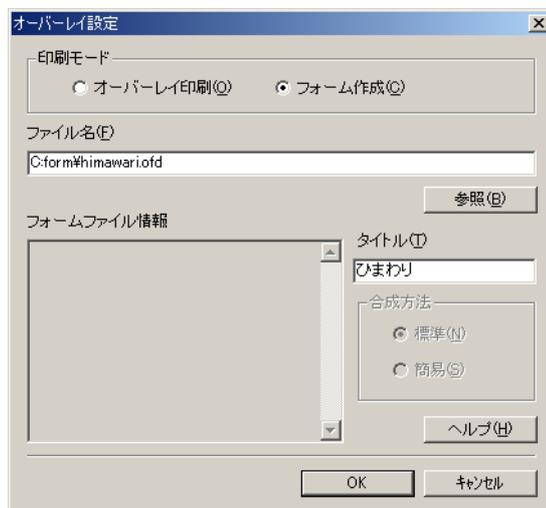


■フォームファイルの作成

オーバーレイ印刷で使用するフォームデータをファイルに保存します。

[印刷モード] の [フォーム作成] をクリックして、[ファイル名] と [タイトル] を設定した後、[OK] をクリックします。

印刷を実行すると、フォームデータが保存されます。



【ファイル名】

[参照] をクリックして、フォームデータを保存する場所とファイル名を設定します。

ファイルパス名を直接入力して設定することもできます。

【タイトル】

フォームデータのタイトルを入力します。

名称は半角、全角ともに 31 文字まで入力できます。



- [フォーム作成] 選択時は、[合成方法] はグレー表示になります。
- 複数ページの印刷データをフォームデータとして作成した場合でも、1 つのファイルとして保存します。

プリンタドライバの使いかた

■オーバーレイ印刷をする

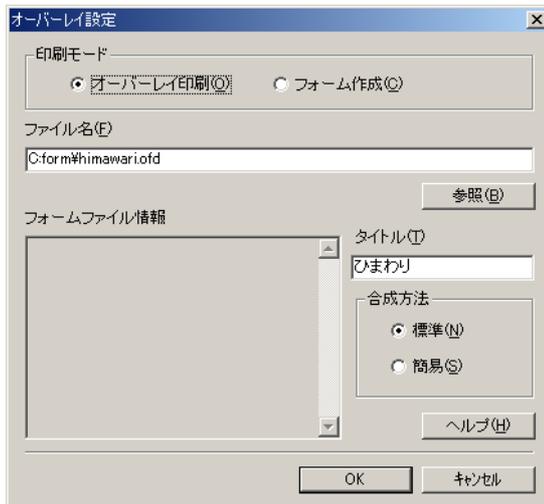
フォームデータを使って、オーバーレイ印刷をします。

オーバーレイ印刷を行う際、次の印刷設定情報がフォームデータと異なっている場合、オーバーレイ印刷はできません。

「用紙の形状」、「用紙の幅」、「用紙の長さ」、「上余白」、「左余白」、「色数（CX 670：6色、CX 650：4色）」

〔印刷モード〕の〔オーバーレイ印刷〕をクリックして、フォームデータの〔ファイル名〕と〔合成方法〕を設定した後、〔OK〕をクリックします。

印刷を実行すると、原稿がフォームデータと重なって印刷されます。



【ファイル名】

〔参照〕をクリックして、フォームデータを選択します。

ファイルパス名を直接入力して指定することもできます。

【合成方法】

原稿とフォームデータの合成方法を設定します。

- ・ **標準**： フォームデータの原稿と重なる部分は印刷されません。原稿のイメージどおりに印刷されます。
- ・ **簡易**： フォームデータの原稿と重なる部分も印刷します。フォームデータと原稿の重なる部分は、混ざり合った色あいで印刷されます。標準の場合より、高速に印刷処理が行われます。

【フォームファイル情報】

【ファイル名】で選択したフォームデータの印刷設定情報が表示されます。

【タイトル】

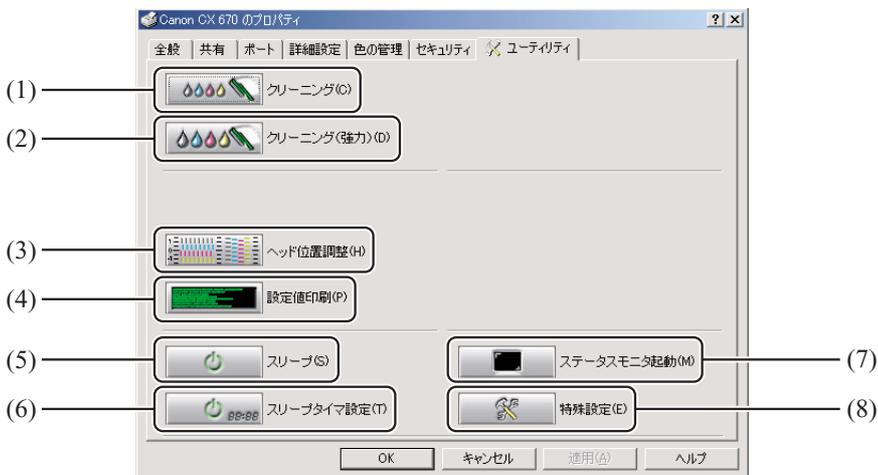
【ファイル名】で選択したフォームデータのタイトルが表示されます。



- フォームデータを作成したプリンタドライバのバージョン等が異なっているとオーバーレイ印刷ができないことがあります。
その場合は、オーバーレイ印刷を行うプリンタドライバで再度フォームデータを作成してください。
- フォームデータによっては、【フォームファイル情報】が表示されないことがあります。

3.6 [ユーティリティ] シートを利用する

[ユーティリティ] シートでは、プリンタのメンテナンスや、プリンタの節電機能などに関する設定を行います。ステータスマニタを起動するときにも、[ユーティリティ] シートを開きます。



- (1) **クリーニング** → **通常のクリーニングを行う (P.93)**
プリントヘッドをクリーニングします。
- (2) **クリーニング(強力)** → **強力なクリーニングを行う (P.94)**
より強力なクリーニングを行います。
- (3) **ヘッド位置調整** → **5.2 ヘッド位置調整を行う (P.95)**
プリントヘッドの位置ずれを調整します。
- (4) **設定値印刷** → **5.3 設定値を確認する (P.104)**
プリンタの設定値を印刷します。
- (5) **スリープ** → **スリープ状態に切り替える (P.79)**
スリープ状態に切り替えます。
- (6) **スリープタイム設定** → **スリープタイムの設定時間を変更する (P.80)**
スリープ状態に切り替える時間を設定します。
- (7) **ステータスマニタ起動** → **4.1 ステータスマニタを表示する (P.83)**
ステータスマニタを表示します。
- (8) **特殊設定** → **特殊な設定を行う (P.81)**
特殊な設定を行います (通常は使用しません)。



- [ユーティリティ] シートを開くときは、Windows の [スタート] メニューからプリンタの [プロパティ] ダイアログボックスを表示します。アプリケーションソフトの中からプリンタのプロパティを表示した場合は、[ユーティリティ] シートが表示されません。
- ユーティリティシートの各項目の設定などを行うときは、プリンタの電源が入っていて、コンピュータと接続されている必要があります。

スリープ状態に切り替える

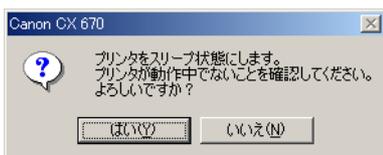
[スリープ] を押して、本機をスリープ状態に切り替えます。



- 印刷中のときは、スリープ状態に切り替えることができません。
- 本体操作パネルの [節電] キーを押してスリープ状態に切り替えることもできます。
- 通常状態で一定時間印刷が行われないと、自動的にスリープ状態に切り替わります。
- スリープ状態では、次のような場合に自動的に通常状態（印刷できる状態）に切り替わります。
 - [節電] キーが押されたとき
 - コンピュータ側で印刷を開始したとき
 - コンピュータ側からクリーニングなどの操作が行われたとき

1 本体がオンライン状態になっていることを確認します。
 オンライン状態になっていない場合は、オンラインボタンを押してオンライン状態にします。

2 [スリープ] をクリックします。
 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



- 3 **【はい】 をクリックします。**
 プリンタがシャットダウン処理を行った後、[印刷可] ランプがゆっくり点滅して、スリープ状態になります。



- 本体がオフライン状態になっていると、オンライン状態になるまで送信待機状態になります。

スリープタイムの設定時間を変更する

[スリープタイム設定] では、プリンタが一定時間操作されない場合や、コンピュータから印刷データが送られない場合に、自動的にスリープ状態に切り替える時間を設定します。



- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、スリープタイムの設定時間を変更できません。
- [スリープタイム設定] の初期状態は、2分に設定されています。

- 1 **本体がオンライン状態になっていることを確認します。**
 オンライン状態になっていない場合は、オンラインボタンを押してオンライン状態にします。

- 2 **【スリープタイム設定】 をクリックします。**
 [スリープタイム設定] ダイアログボックスが表示されます。

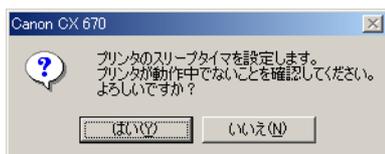


- 3 **設定時間を入力します。**
 キーボードまたは入力ボックスの右にある ,  ボタン (1 ずつ増減) を使用して、スリープタイムの設定時間を変更します。
 設定時間は 1 ~ 60 (分) の範囲で、1 分単位で設定できます。

4

【送信】 をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



5

【はい】 をクリックします。

スリープタイムの設定時間が変更されます。

特殊な設定を行う

【特殊設定】は、通常は設定する必要はありません。本機を特殊な環境でご利用になる場合に、印刷の不具合を調整することが必要なときに限り設定を行ってください。

【特殊設定】には、次の2項目があります。

【低室温時印刷モード】

低温環境で本機を使用するときに選びます。

【高精細文字モード】

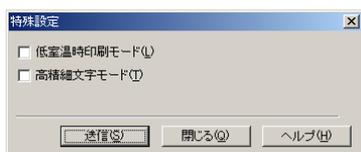
黒文字のにじみなどで文字が太くなってしまうのを改善するときに選びます。



- 【特殊設定】は、印刷中やエラーが発生している状態のときは設定できません。
- 【特殊設定】は、通常はチェックを外してください。特に、【低室温時印刷モード】はインクを多く消費しますので、必要なときだけで使用ください。
- 【高精細文字モード】を使用すると、画像の黒い部分のバランスが悪くなったり、そのほかの画像の影響が出ることがあります。
- 【低室温時印刷モード】を使用しても、室温が15℃よりも極端に低いときは、効果が十分でない場合があります。

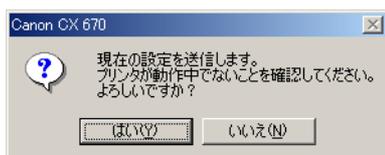
プリンタドライバの使いかた

- 1 **【特殊設定】 をクリックします。**
【特殊設定】 ダイアログボックスが表示されます。



- 2 **利用する特殊設定のチェックボックスをクリックし、チェックマークをつけます。**

- 3 **【送信】 をクリックします。**
確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



- 4 **【はい】 をクリックします。**
設定した内容が有効になります。

- 5 **【閉じる】 をクリックします。**

ステータスマニタの使いかた

ステータスマニタを使用すると、プリンタの状態や印刷の状況を知ることができます。

4.1 ステータスマニタを表示する

ステータスマニタの起動のしかた、表示のしかたを説明します。

ステータスマニタを起動する

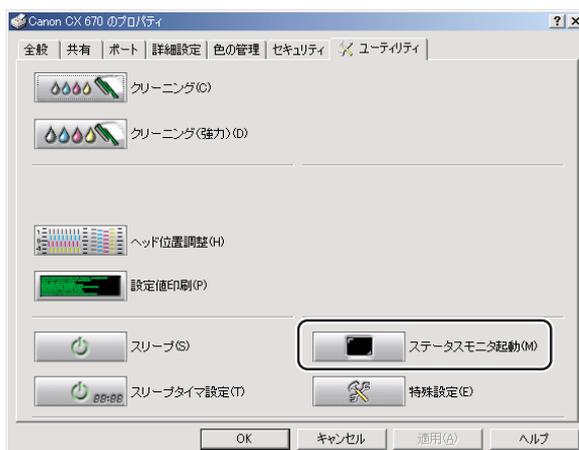
ステータスマニタを起動します。



- ステータスマニタは、インストールした状態では印刷が開始されたときに自動的に起動し、ウィンドウが表示される設定になっています。
- ステータスマニタは、メニューの設定によって Windows を起動したときに自動的に起動させることもできます。
- 起動したステータスマニタのウィンドウは、通常はタスクバーやタスクトレイに入れ、エラーなどが発生した場合にウィンドウを表示させることもできます。

→ [ステータスマニタの起動と表示方法 \(P.84\)](#)

- 1 [Canon CX 670 のプロパティ] または [Canon CX 650 のプロパティ] ダイアログボックスの [ユーティリティ] シートを表示し、[ステータスマニタ起動] をクリックします。



ステータスマニタが起動します。



ステータスマニタの起動と表示方法

ステータスマニタの起動のしかたと、表示のしかたをメニュー機能で設定できます。

■起動のしかた

起動のしかたは、次のどちらかに設定できます。

【印刷中に起動】

印刷を開始したときに、ステータスマニタが自動的に起動して表示されます。
ステータスマニタは、印刷が終わると自動的に閉じます。(初期状態の設定)

【Windows と同時に起動】

Windows を起動したときに、ステータスマニタが自動的に起動します。

■表示のしかた

表示のしかたは、次のいずれかに設定できます。

【ポップアップして起動】

ステータスマニタのウィンドウを画面に表示します。(初期状態の設定)

【最小化で起動】

起動したステータスマニタのウィンドウを、最小化してタスクバーに収納します。

【タスクトレイに入れて起動】

起動したステータスマニタを、タスクトレイの中にアイコン化された状態を表示します。

【常に手前に表示】

他のアプリケーションソフトなどのウィンドウを開いても、ステータスマニタのウィンドウを常に手前に表示します。

起動および表示のしかたは次の手順で設定します。

1

【起動】メニューを開き、起動のしかたを選びます。

【印刷中に起動】または【Windowsと同時に起動】をクリックします。

設定された項目の先頭に「●」が付きます。



2

【表示】メニューを開き、表示のしかたを選びます。

【ポップアップして起動】、【最小化で起動】または【タスクトレイに入れて起動】をクリックします。

設定された項目の先頭に「●」が付きます。



- ウィンドウが表示されたときに常に手前に表示させる場合は、【常に手前に表示】をクリックし、先頭にチェックを付けます。この設定は、【表示】メニューの他の項目とは無関係に設定できます。
- 【常に手前に表示】にチェックを付けると、ステータスマニタのウィンドウが半透明で表示されます。
- 【最小化で起動】または【タスクトレイに入れて起動】に設定しても、プリンタにエラーが発生すると自動的にポップアップし、メッセージを表示します。ポップアップされたウィンドウの最小化ボタンをクリックすると、再びタスクバーに収納できます。

4.2 ステータスマニタを利用する

ステータスマニタでは、現在の印刷状況を確認できるほか、プリンタの状態やインクの消費状態などを確認できます。



- (1) **プリンタ状態のイメージ**
現在のプリンタの状態がイメージで表示されます。
- (2) **印刷状況**
現在の印刷状況が表示されます。
- (3) **印刷中止**
印刷を中止します。
- (4) **ステータス情報**
現在のプリンタの状態を知らせるメッセージが表示されます。
- (5) **詳細なステータス表示**
プリンタの状態を詳しく説明する別ウィンドウを開きます。
- (6) **インク情報**
インクカートリッジの消費状況が表示されます。

印刷状況を見る

印刷の進行状況を確認できます。



【ページ数】

印刷を指定した原稿のページ数が表示されます。

【印刷部数】

指定した部数の印刷の進行状況が表示されます。

例えば、3 ページ原稿を 10 部ずつ印刷する設定を行った場合、1 ページ目を印刷する間は「0001/0010」～「0010/0010」と順に表示されます。

プログレスバーは、各ページごとの部数の処理状況を表しています。

【印刷中止】

印刷を途中で中止する場合にクリックします。現在の印刷を行った後、中止します。



- 【印刷中止】 をクリックしても印刷が中止されない場合は、プリンタ本体の操作パネルの【印刷中止 / リセット】キーを押して、プリンタのリセット処理を行ってください。

ステータス情報を見る

プリンタの状態を確認します。



現在のプリンタの状態を 4 つのイメージで表示します。



通常の状態であることを示します。
オンラインの状態であり、印刷を行うことができます。



オフライン状態であることを示します。



警告が発生していることを示します。
[ステータス情報] に警告メッセージが表示されますが、印刷を続けることができます。必要に応じて対処を行ってください。



エラーが発生していることを示します。
[ステータス情報] にエラーメッセージが表示され、印刷を行うことができません。
必要な対処を行ってください。



- ステータスマニタが最小化されている場合、またはタスクトレイに入っている場合は、エラーが発生した時点でステータスマニタのウィンドウが表示されます。

ステータスマニタの使いかた

■ステータス情報を見る

ステータス情報には、4つのアイコンとメッセージで、現在のプリンタの状態が表示されます。



インフォメーション

プリンタに関する情報が表示されます。メッセージ内容を確認してください。



警告メッセージ

警告が発生しています。警告の内容をメッセージで確認してください。
この場合、印刷を行うことはできません。



オペレータコールエラー

お客様の操作が必要なエラーが発生しています。
エラー内容をメッセージで確認し、必要な対処を行ってください。



サービスマンコールエラー

お客様の操作では復帰不可能なエラーが発生しています。
一度メイン電源スイッチをオフにしてください。再度メイン電源スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号（4桁の数字）を控えてご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。



- 複数のエラーが同時に発生した場合は、重要度の高いエラーから順に [ステータス情報] に表示されます。

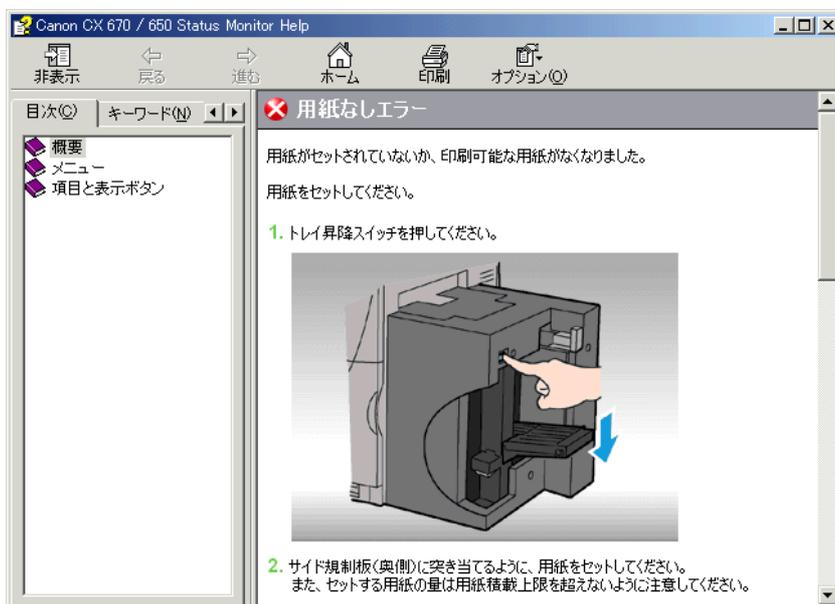
ステータス情報に表示されたメッセージについて、さらに詳しく知りたい場合は、次の手順で説明ウィンドウを表示して確認することができます。

1

説明を見るメッセージを選び、**【詳細なステータス表示】** をクリックします。



説明ウィンドウが開き、メッセージの説明と対処方法を確認できます。



- **【ステータス情報】** の項目をダブルクリックしても、同様に説明ウィンドウを表示できます。

インク情報を見る

インクカートリッジのインクの消費状況を確認します。

インクカートリッジの種類は、CX 670 は左からイエロー(Y)、ライトマゼンタ(LM)、マゼンタ(M)、ライトシアン(LC)、シアン(C)、ブラック(Bk)で、CX 650 は左からイエロー(Y)、マゼンタ(M)、シアン(C)、ブラック(Bk)です。



それぞれのインクカートリッジのインク残量を3つのイメージで表示します。



インクあり

インクカートリッジにインクが十分あります。



インク残量少

インクカートリッジのインクがなくなりました。

新しいインクカートリッジに交換してください。

ただし、プリンタ内部にインクが残っているため、しばらくの間は印刷は続けられます。



インクなし

プリンタ内部のインクがなくなりました。

新しいインクカートリッジに交換してください。



禁止

- インクカートリッジは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。



- 「インク残量少」になると、「ステータス情報」に警告メッセージが表示されます。また、「インクなし」になると、エラーメッセージが表示されます。
- 「インク残量少」になったら、「インクなし」になる前に新しいインクカートリッジを用意してください。新しいインクカートリッジの入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

メンテナンスのしかた

プリンタをいつもよい状態でお使いいただくためのメンテナンスについて説明します。

5.1 ヘッドをクリーニングする

印刷結果がかすれている場合は、プリントヘッドにホコリや紙粉が付着しノズルがつまっていることが考えられます。ノズルがつまったときはクリーニングを行ってください。

通常のクリーニングを行う

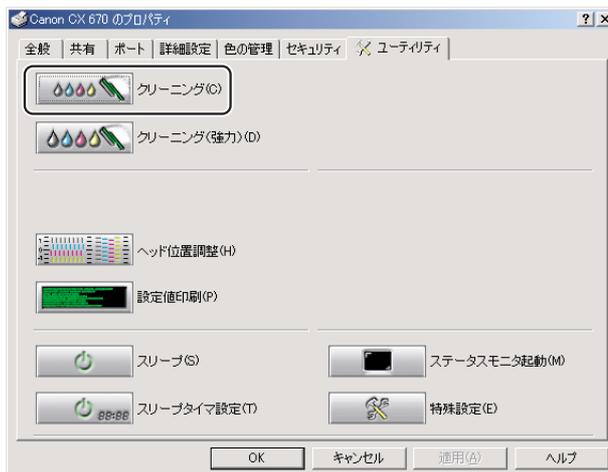
通常のクリーニングを行います。



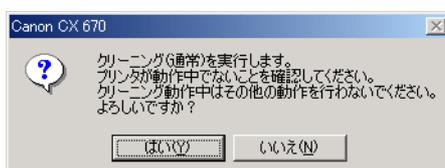
- クリーニング中は、その他の動作を行わないでください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニングはできません。
- 通常のクリーニングを行っても状況が改善されない場合は、強力なクリーニングをお試しください。

→ [強力なクリーニングを行う \(P.94\)](#)

- 1 [Canon CX 670のプロパティ] または [Canon CX 650のプロパティ] ダイアログボックスの [ユーティリティ] シートを表示し、[クリーニング] をクリックします。確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



- 2 [はい] をクリックします。クリーニングが行われます。



強力なクリーニングを行う

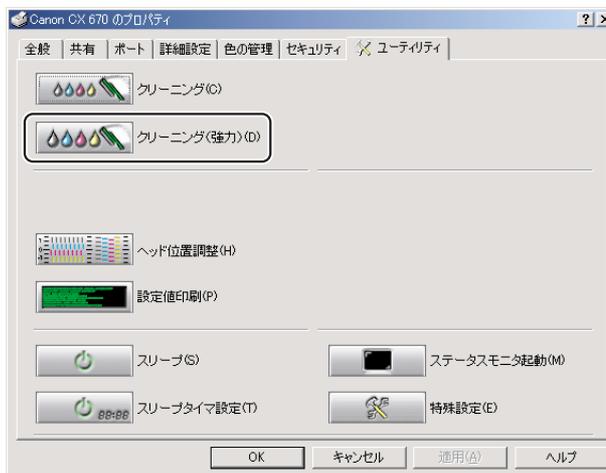
通常のクリーニングを行っても状況が改善しない場合は、強力なクリーニングを行ってください。



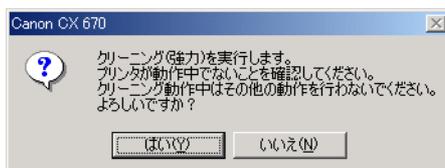
- クリーニング中は、その他の動作を行わないでください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、クリーニング（強力）はできません。
- クリーニングによって状況が改善されない場合は、プリントヘッドの消耗など、別の原因が考えられます。ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにお問い合わせください。

1 [Canon CX 670のプロパティ] または [Canon CX 650のプロパティ] ダイアログボックスの [ユーティリティ] シートを表示し、[クリーニング（強力）] をクリックします。

確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



2 [はい] をクリックします。 クリーニング（強力）が行われます。



5.2 ヘッド位置調整を行う

本機は、設置時に最良の状態での印刷できるように調整されていますが、印刷結果に色ずれが見られるなどの場合は、ヘッド位置調整を行ってください。

ヘッド位置調整では、用紙サイズごとに調整を行う必要があります。以下の用紙サイズに対して、それぞれヘッド位置調整パターンを印刷し、パターンを確認しながら調整を行います。

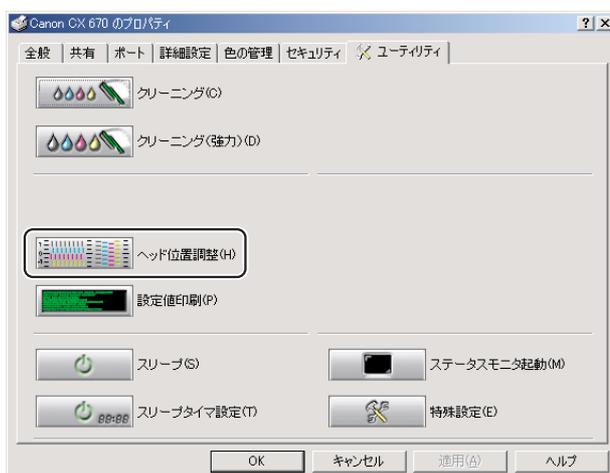
- ・名刺サイズ：用紙の長さが 60mm 未満
- ・はがきサイズ：用紙の長さが 60mm 以上 150mm 未満
- ・封筒サイズ：用紙の長さが 150mm 以上

ブラックヘッドの調整を行った後、ブラックを基準にしてその他の色のヘッドを調整します。ヘッド位置調整パターンの印刷を行う際は、用紙サイズが名刺サイズ以上の大きさの用紙をお使いください。



- 用紙サイズが名刺サイズより小さい用紙をご使用の場合、ヘッド位置調整パターンが欠けたり、印刷されない場合があります。
- 用紙がセットされていることを確認してください。調整パターンは、はがきサイズおよび封筒サイズの場合は 3 枚、名刺サイズの場合は 6 枚印刷されます。
- 調整を行う用紙サイズの用紙がセットされていることを確認してください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、ヘッド位置調整はできません。

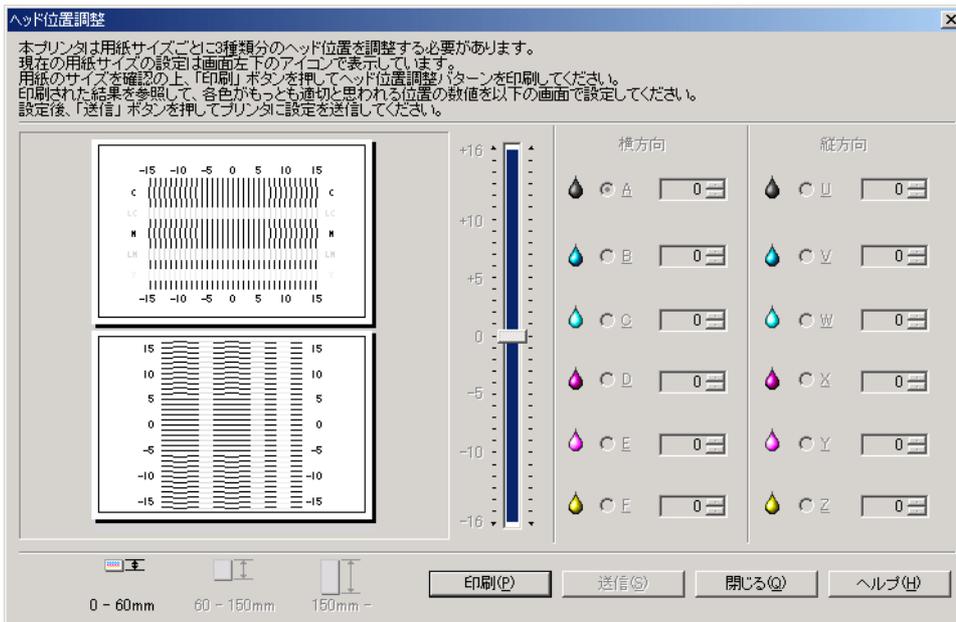
- 1 [Canon CX 670 のプロパティ] または [Canon CX 650 のプロパティ] ダイアログボックスの [ユーティリティ] シートを表示し、[ヘッド位置調整] をクリックします。
[ヘッド位置調整] ダイアログボックスが表示されます。



2

【印刷】 をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。



- プリンタドライバで現在設定されている用紙に従って、調整される用紙サイズがダイアログボックスの左下に表示されます。

3

プリンタが動作中でないことを確認し、【はい】 をクリックします。

ヘッド調整位置パターンが印刷されます。



4

ヘッド位置調整パターンが正常に印刷された場合は、【はい】 をクリックします。



- [ヘッド位置調整] ダイアログボックスでは、ヘッド位置調整パターンを印刷しないと、調整できません。
- 調整範囲は-16～+16ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダの目盛りに表示される▲、▼の間で設定してください。

5

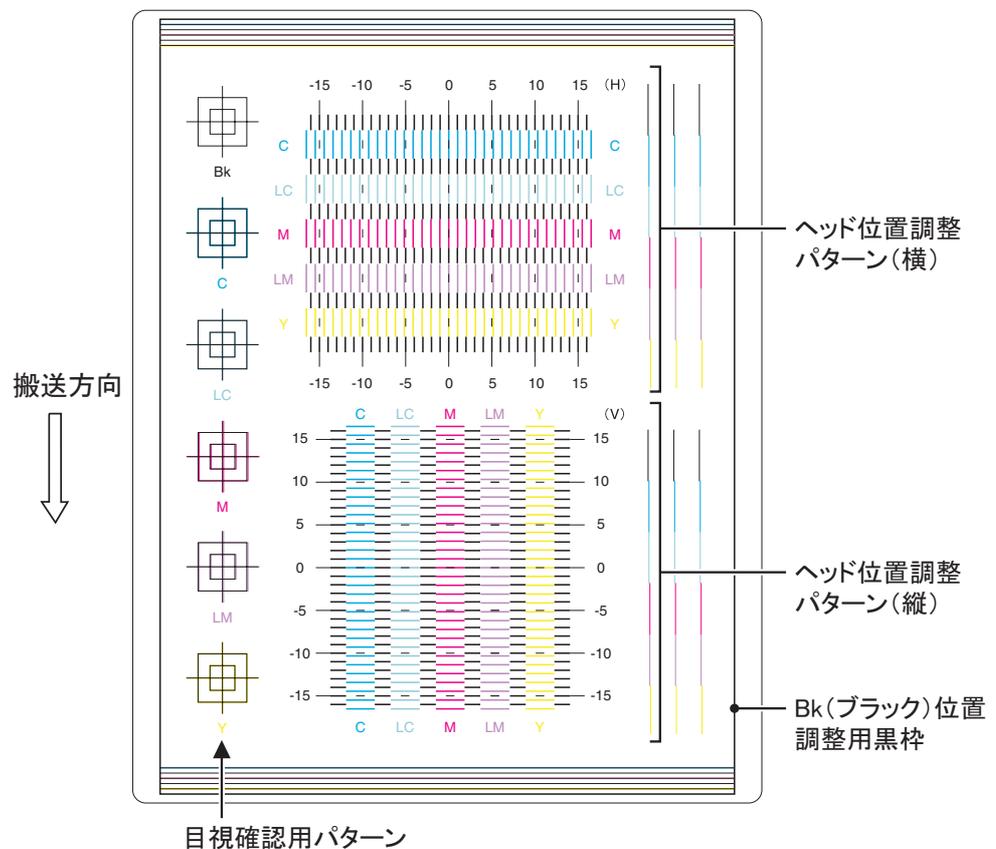
印刷されたヘッド位置調整パターンを確認します。

プリントヘッドから正常にインクが出ているか、ヘッド位置がずれていないかを確認してください。

ヘッド位置調整パターンには、搬送方向の位置ずれを測るための「ヘッド位置調整パターン（縦）」と、搬送方向に垂直な方向の位置ずれを測るための「ヘッド位置調整パターン（横）」、そして各インクの基準となる Bk（ブラック）のヘッド位置を確認するための黒枠が印刷されます。



- 調整パターンは、はがきサイズおよび封筒サイズの場合は3枚、名刺サイズの場合は6枚印刷されます。最後に印刷された用紙（はがきサイズおよび封筒サイズの場合は3枚目、名刺サイズの場合は5～6枚目）を使ってヘッド位置調整を行ってください。
- 名刺サイズに印刷した場合、ヘッド位置調整パターンは2枚に分割されて印刷されます。



ブラックのヘッド位置の確認

Bk（ブラック）位置調整用黒枠が、用紙の中心になっていることを確認します。黒枠が用紙の中心からずれているときは、手順 6 からのブラックのヘッド位置調整を行います。

黒枠が用紙の中心になっているときは、ブラック以外のヘッド位置の確認を行ってください。



- ブラックのヘッド位置調整を行った後は、再度ヘッド位置調整パターンを印刷して、ブラック以外のヘッド位置調整を必ず行ってください。

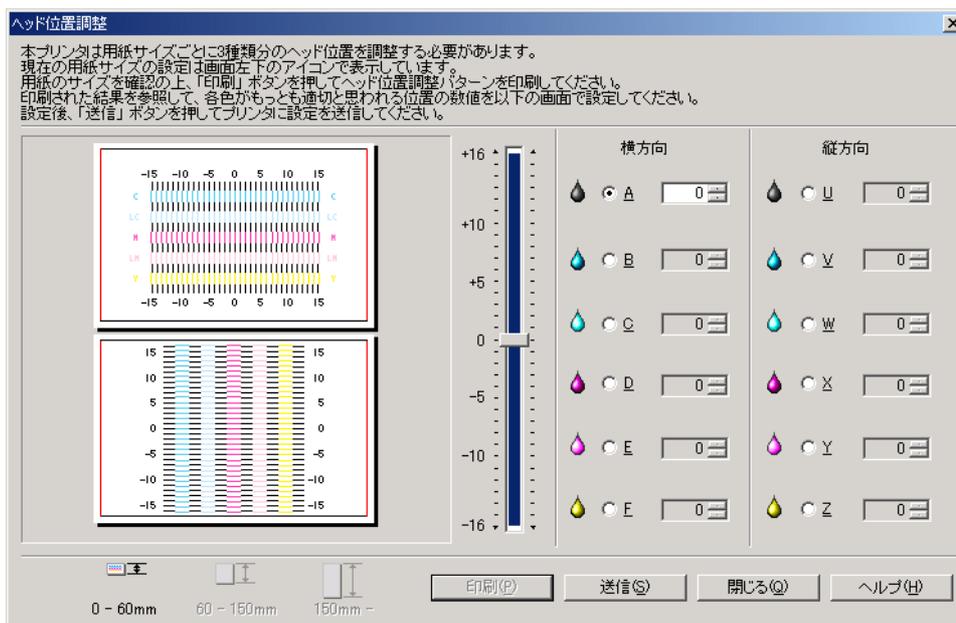
- ・ 黒枠が左寄りになっている場合 → 横方向の調整 (P.99)
- ・ 黒枠が右寄りになっている場合 → 横方向の調整 (P.99)
- ・ 黒枠が上寄りになっている場合 → 縦方向の調整 (P.99)
- ・ 黒枠が下寄りになっている場合 → 縦方向の調整 (P.99)

ブラック以外のヘッド位置の確認

目視確認用パターンを確認して、ブラックの印字と各色の印字が、それぞれ重なっていることを確認します。ブラックの印字と各色の印字がずれているときは、手順 11 からのブラック以外のヘッド位置調整を行います。→ 手順 11 (P.100)

6

ブラックのヘッド位置を調整します。



横方向の調整

Bk（ブラック）位置調整用黒枠が左寄りになっている場合は数値をプラス（+）に、右寄りになっている場合は数値をマイナス（-）にします。

[横方向] の [A]（ブラック）をクリックし、中央のスライダをドラッグして数値を増減します。



- 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 数値を 1 増減させると、黒枠は左右に 0.0425mm 移動します。
- 調整範囲は - 16 ~ +16 ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

縦方向の調整

Bk（ブラック）位置調整用黒枠が上寄りになっている場合は数値をマイナス（-）に、下寄りになっている場合は数値をプラス（+）にします。

[縦方向] の [U]（ブラック）をクリックし、中央のスライダをドラッグして数値を増減します。



- 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 数値を 1 増減させると、黒枠は上下に 0.0425mm 移動します。
- 調整範囲は - 16 ~ +16 ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

7

[送信] をクリックします。

送信確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



8

[はい] をクリックします。

ヘッド位置が調整されます。

9 再度【印刷】をクリックして、ヘッド位置調整パターンを印刷し、ブラックのヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。

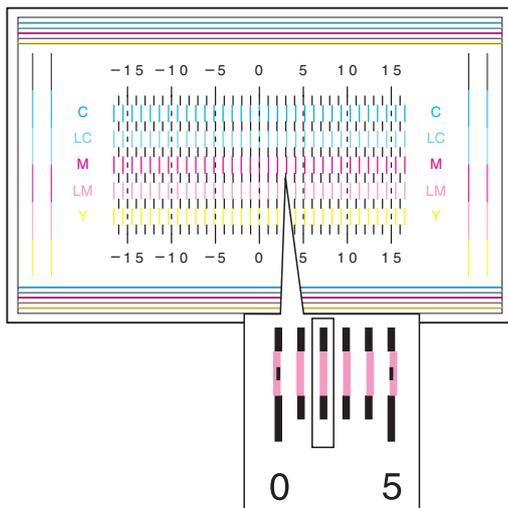
印刷された調整パターンを見て、Bk（ブラック）位置調整用黒枠が用紙に対して中央に印刷されている場合はブラックヘッドの調整は完了です。Bk（ブラック）位置調整用黒枠のずれが直っていない場合は、手順5～9を繰り返して調整をやり直してください。

10 ブラックヘッドの調整が完了したパターンを見て、ブラック以外のヘッド位置を確認します。

11 ブラック以外のヘッド位置を調整します。

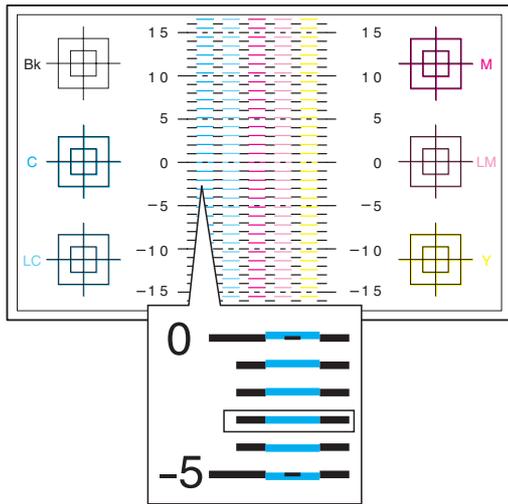
ブラック以外の各色について、それぞれヘッド位置調整パターン（横）の黒線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、調整値が「+2」になります。 → [横方向の調整 \(P.101\)](#)



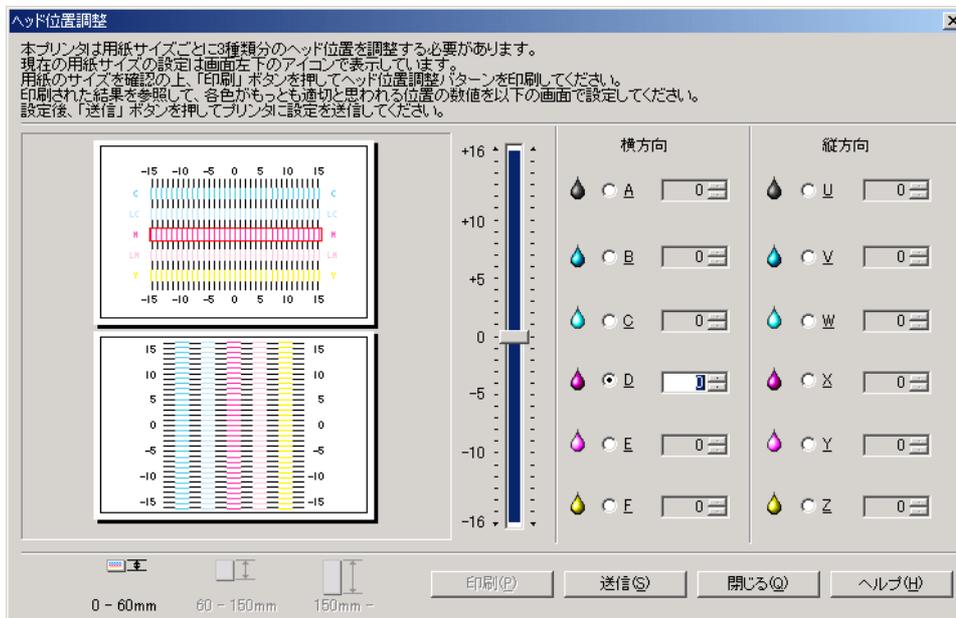
ブラック以外の各色について、それぞれヘッド位置調整パターン（縦）の黒線と各色の線が最もなめらかに（段差がなく）つながって見える線の数値を読みとります。

例えば、次のような場合は、調整値が「-3」になります。 → 縦方向の調整 (P.102)



12

調整値を設定します。



横方向の調整

〔横方向〕の調整する色をクリックし、中央のスライダをドラッグして、手順 11 で読み取った調整値に合わせます。

メンテナンスのしかた



- 各色のパターンすべてについて調整を行ってください。
- 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 調整範囲は - 16 ~ +16 ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

縦方向の調整

【縦方向】の調整する色をクリックし、中央のスライダをドラッグして、手順 11 で読み取った調整値に合わせます。



- 各色のパターンすべてについて調整を行ってください。
- 入力ボックスをクリックし、キーボードから数値を入力することもできます。
- 、 ボタンをクリックすると、現在の数値は 1 ずつ増減します。
- 調整範囲は - 16 ~ +16 ですが、現在の設定状態によっては、すべての範囲から選べない場合があります。スライダの目盛りに表示される ▲、▼ の間で設定してください。

13

【送信】 をクリックします。

送信確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



14

【はい】 をクリックします。

ヘッド位置が調整されます。

15

再度【印刷】 をクリックしてヘッド位置調整パターンを印刷し、ヘッド位置が正しく調整されたことを確認します。

印刷された調整パターンを見て、各色の「0」の位置の線がなめらかにつながっている場合は調整完了です。

線がずれて見える場合は、手順 11 ~ 手順 15 を繰り返して調整をやり直してください。

16

【閉じる】 をクリックします。

ヘッド位置調整の終了を確認するメッセージが表示されます。

17

【はい】 をクリックします。



- [ヘッド位置調整] ダイアログボックスでは、ヘッド位置調整パターンを印刷しないと、調整できません。

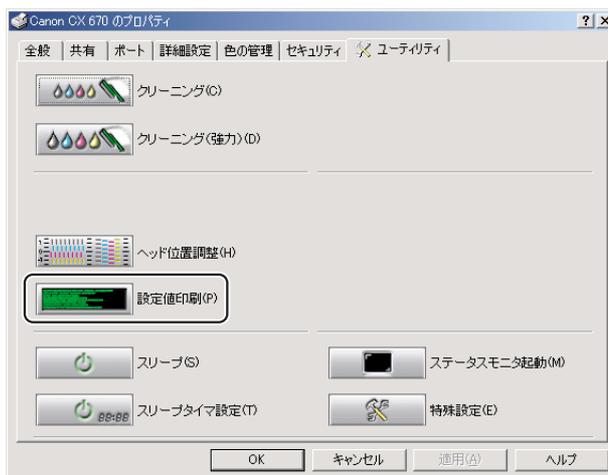
5.3 設定値を確認する

本機に設定されている情報を印刷します。設定値印刷を行う際は、カラーカードプリンタ専用紙を使用することをお奨めします。



- CX 670 において名刺サイズに印刷した場合、設定値印刷は2枚に分割されて印刷されます。
- 用紙がセットされていることを確認してください。
- 印刷中やエラーが発生している状態のときは、設定値印刷はできません。

1 [Canon CX 670 のプロパティ] または [Canon CX 650 のプロパティ] ダイアログボックスの [ユーティリティ] シートを表示し、[設定値印刷] をクリックします。

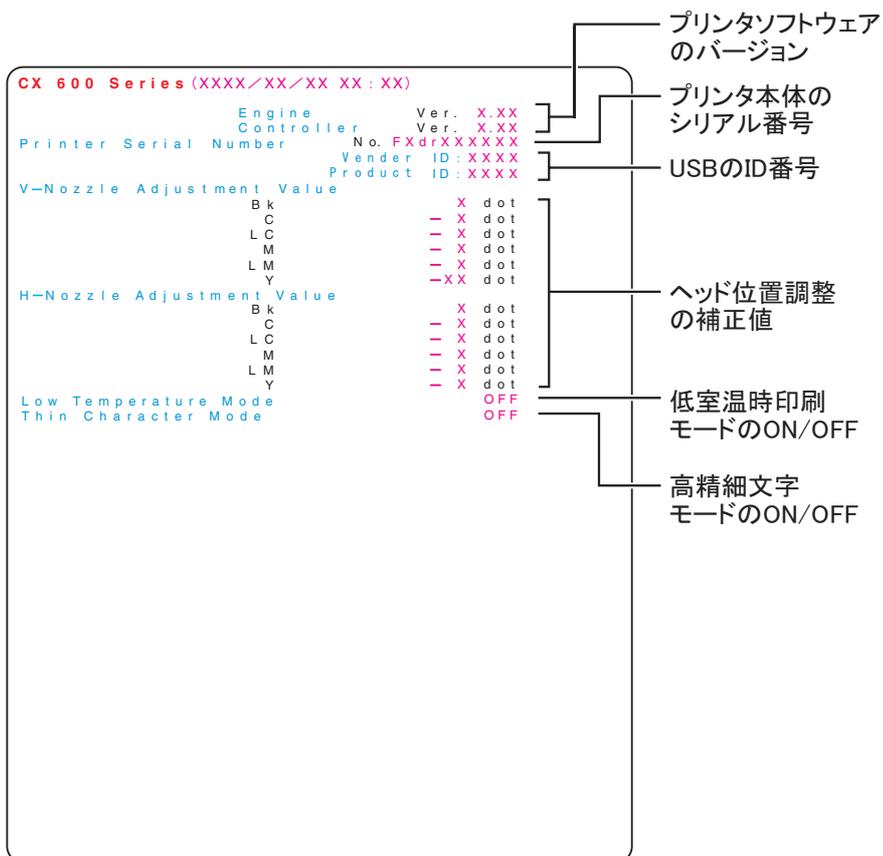


確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



2 [はい] をクリックします。 設定値が印刷されます。

設定値の見かた



5.4 インクカートリッジを交換する

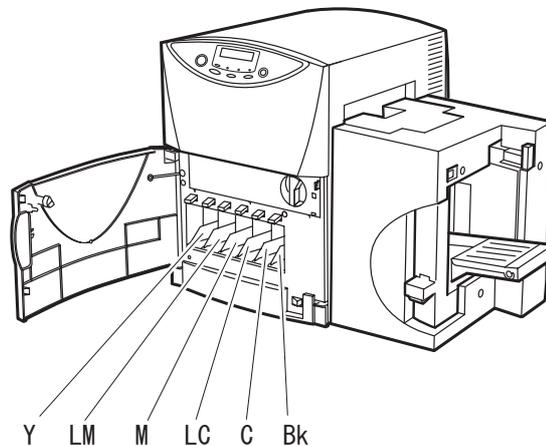
インクの残量が少なくなると、表示パネルに「カートリッジコウカン」のメッセージが表示され、もうすぐインクがなくなることを読らせます。印刷は継続できますが、インクがなくなると「インクガアリマセン」メッセージが表示され印刷を停止します。

インクカートリッジは、CX 670 の場合はイエロー (Y)、ライトマゼンタ (LM)、マゼンタ (M)、ライトシアン (LC)、シアン (C)、ブラック (Bk) の 6 色、CX 650 の場合は、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk) の4色があります。表示パネルに表示されたメッセージを確認し、インクがなくなった色のインクカートリッジを交換します。

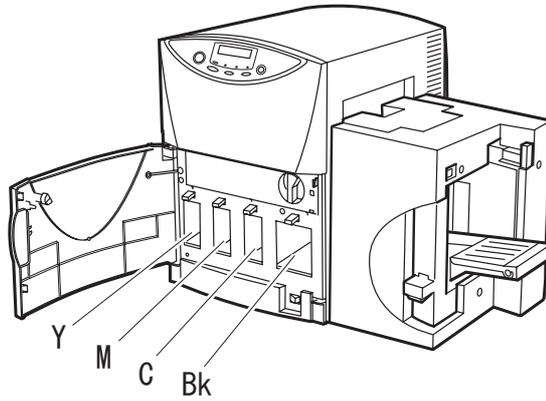


- インクカートリッジは、交換するとき以外は抜き差ししないでください。部材の消耗を早める原因となります。
- 「カートリッジコウカン」メッセージが表示されたら、できるだけ早く新しいインクカートリッジを入手してください。新しいインクカートリッジの入手方法については、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 最適な印刷品質を保つため、インクカートリッジは本プリンタ用のカートリッジを使用してください。
- インクカートリッジの位置は、次のとおりです。
セットする位置が違ふ場合は、インクカートリッジを差し込むことができません。無理にセットしないでください。

(CX 670 の場合)



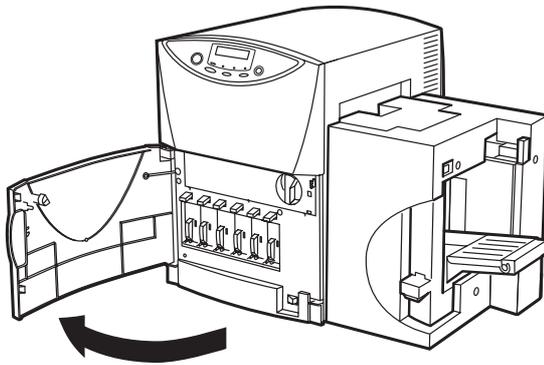
(CX 650 の場合)



- インクカートリッジは、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- インクカートリッジは、セットしてから 1 年を目安に使い切ることをお勧めします。また、インクカートリッジは使用するときまで開封しないでください。

1

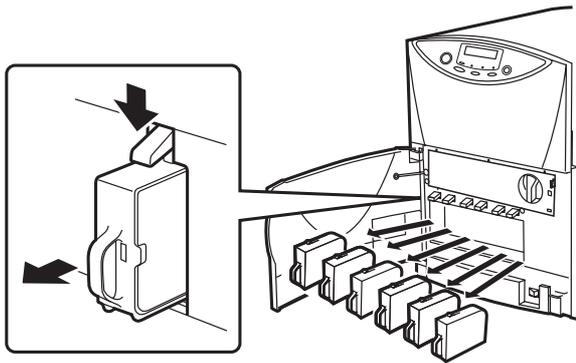
前ドアを開きます。



2

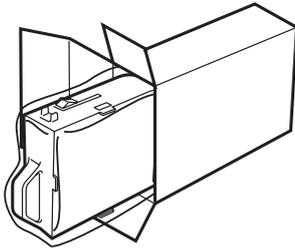
インクのなくなったインクカートリッジを取り外します。

レバーを押し下げながら、インクカートリッジを手前にゆっくり引き抜きます。



3

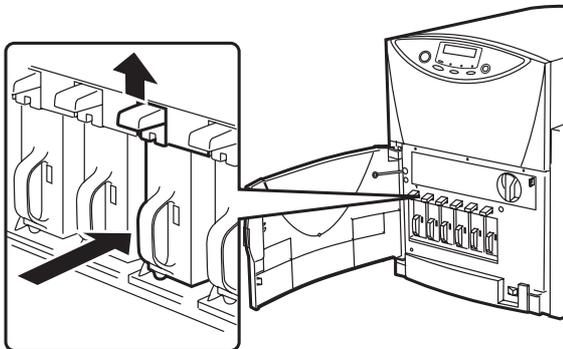
新しいインクカートリッジを袋から取り出します。



4

新しいインクカートリッジをセットします。

インクカートリッジは、レバーのロックがかかってカチッと音がするまで確実に差し込んでください。



注意

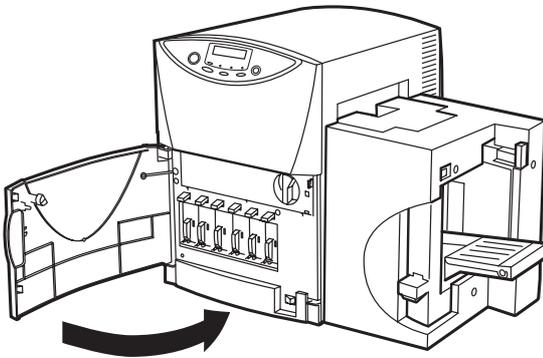
- インクカートリッジの挿入部内には、針部があり危険です。内部に指を入れたりしないでください。

5 取り外したインクカートリッジをビニール袋に入れて、口を閉じます。



- 使用済みのインクカートリッジは、衣服や周囲を汚さないようにビニール袋などに入れてください。

6 前ドアを閉じます。



- インクカートリッジの交換は速やかに行ってください。インクカートリッジを取り外した状態で長時間放置しないでください。



注意

- インクカートリッジを強い力で押さえたり、落としたりしないでください。インクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



禁止

- インクカートリッジをセットした後は、交換時期になるまで抜き差ししないでください。

5.5 使用済みインクカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。

この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、キヤノンによる“環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済となったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口到店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートページ canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。



5.6 プリンタの清掃

印刷を行っているとき、プリンタ内部がインクや紙粉で汚れてきます。プリンタの内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れたり、用紙が正しく送られなくなることがあります。常に良好な状態で印刷できるように、本機を定期的に清掃してください。

本機の外装が汚れたときは、水または中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。



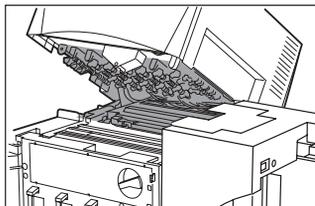
警告

- プリンタ内部を清掃するときは、水を含ませて固く絞った布で汚れを落とした後、から拭きしてください。また、シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

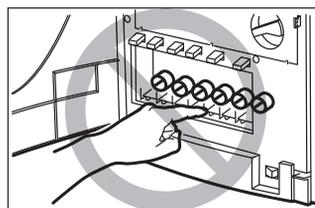


注意

- 清掃の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。誤って動作した場合、けがや故障の原因になることがあります。
- ヘッド周辺（図のグレー部分）に手を触れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



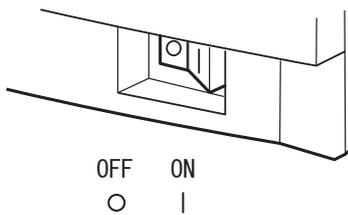
- インクカートリッジの挿入部内には、針部があり危険です。内部に指を入れたりしないでください。



メンテナンスのしかた

- 1 **【印刷可】ランプがゆっくり点滅（スリープ状態）していることを確認します。**
【印刷可】ランプが点灯（通常状態）している場合は、[節電] キーを押します。

- 2 **メイン電源スイッチをオフ（「○」の位置）にします。**



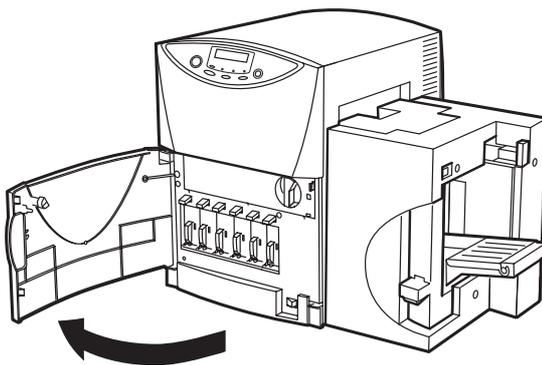
禁止

- 印刷中にメイン電源スイッチをオフにしないでください。プリントヘッドの保護動作が正常に行われず故障の原因となります。
- 電源を完全に切る場合は、[節電] キーを押して、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。

→ [電源を完全に切る \(P.24\)](#)

- 3 **電源プラグをコンセントから抜きます。**

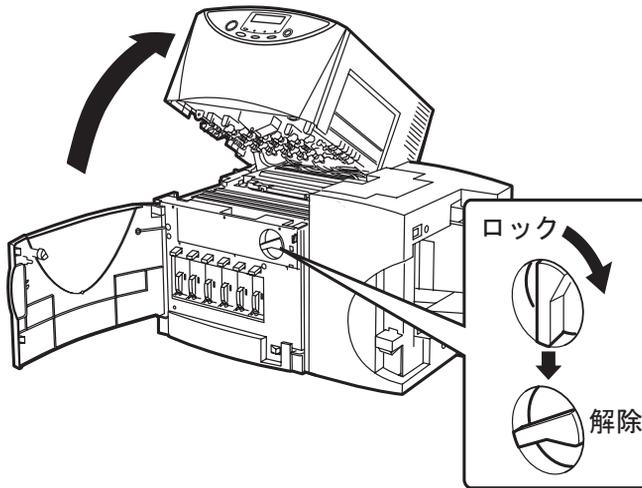
- 4 **前ドアを開きます。**



5

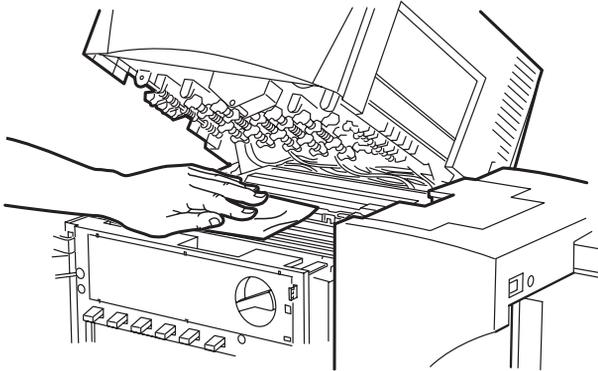
PHS ユニットを開きます。

PHS ユニットオープンハンドルを解除位置にして開きます。



6

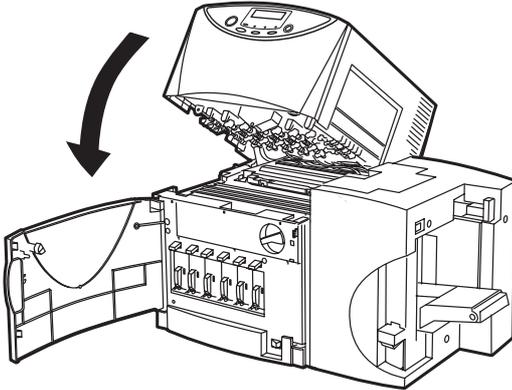
水を含ませて固く絞った布で、搬送路に付着したホコリや紙粉を拭き取ります。



- ペーパータオルやティッシュペーパーは使用しないでください。切れたかすや紙粉が本体内に入ると、故障の原因となります。

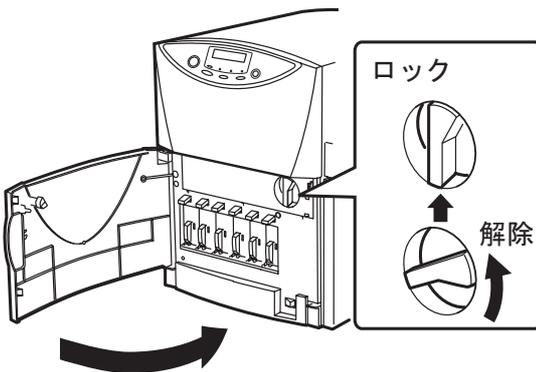
7

PHS ユニットを閉じます。



8

PHS ユニットオープンハンドルを「ロック」位置にして前ドアを閉じます。



困ったときは

プリンタが思いどおりに動作しないときや、正しく印刷できないときの対処方法について説明します。

ここの対処方法をお試しただいてもうまくいかなない場合は、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

- ➔ 6.1 メッセージが表示されたとき (P.115)
- ➔ 6.2 用紙が詰まったとき (P.119)
- ➔ 6.3 思ったとおりに動作しないとき (P.122)
- ➔ 6.4 思ったとおりの印刷結果にならないとき (P.125)

6.1 メッセージが表示されたとき

プリンタの操作中や印刷中にトラブルが発生すると、表示パネルにエラーメッセージや警告メッセージが表示されます。



- エラーメッセージが表示されると、プリンタは自動的にオフライン状態になります。エラーの内容によっては、エラーの対処を行っても自動的にオンライン状態にならない場合があります。その場合は、[オンライン] キーを押してオンライン状態にしてください。
- 複数のエラーが同時に発生した場合は、すべてのメッセージが1秒ごとに順次切り替わって表示されますので、すべてのエラー対処を行ってください。

■エラーメッセージ

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
インクが空 (色)	(CX 670 : Y/LM/M/LC/C/Bk、CX 650 : Y/M/C/Bk) の色のインクが空になりました。	新しいインクカートリッジに交換してください。 ➔ 5.4 インクカートリッジを交換する (P.106)
サービスコール / ○○○ ○○○	お客様では、修復不可能なエラーが発生しました。	一度メイン電源スイッチをオフにしてください。再度メイン電源スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、エラー番号 (○○○部分) を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
スタッカ-テンゲン	オートスタッカ上部に用紙が詰まっています。	オートスタッカ部の用紙を取り除いてください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
セキサイオーバー：イグチ	給紙トレイに積載容量を越えて用紙をセットしています。	用紙積載ラベルの矢印が指す線を越えないように用紙をセットしてください。 → 1.4 用紙をセットする (P.25)
セキサイオーバー：デグチ	オートスタッカに用紙が溜まりすぎています。	オートスタッカ部の用紙を取り除いてください。
フィーダカバーオープン	フィーダカバーが開いています。	フィーダカバーを閉じてください。
フロントドアオープン	前ドアが開いています。	PHS ユニットオープンハンドルが「ロック」位置になっていることを確認し、前ドアを閉じてください。
メモリフル	フォームオーバーレイのフォームデータの容量が大きいため、メモリが足りません。	[印刷中止/リセット] キーを押して印刷を中断し、フォームデータを作り直してください。
ヨウカアリマセン	用紙がありません。	用紙をセットしてください。 → 1.4 用紙をセットする (P.25) 印刷を中止する場合は [印刷中止/リセット] キーを押してください。 → 2.3 印刷を中止する (P.37)
ヨウサイズテケン	セットしている用紙の長さが、アプリケーションソフトおよびプリンタドライバで設定されている用紙サイズの長さとは異なります。	用紙が違っていた場合は、正しい用紙に交換してください。 → 1.4 用紙をセットする (P.25) アプリケーションソフトおよびプリンタドライバの設定が違っていた場合は、[印刷中止/リセット] キーを押して印刷を中止し、用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。

エラーメッセージ	エラーの内容	対処のしかた
ヨシガ ツマリマシ	搬送路、給紙部、または排紙口付近で用紙が詰まっています。	PHS ユニットおよびフィーダカバーを開いて紙詰まりを取り除き、用紙をセットし直してください。 → 6.2 用紙が詰まったとき (P.119) → 1.4 用紙をセットする (P.25)
ヨシ セット テケン	用紙が正しくセットされていません。	サイド規制板 (手前/奥) の位置を正しく合わせて、用紙を揃えてセットしてください。 → 1.4 用紙をセットする (P.25)
ヨシヨサイズ テケン	セットしている用紙の幅が、アプリケーションソフトおよびプリンタドライバで設定されている用紙サイズの幅と異なります。	用紙が違っていた場合やサイド規制板の位置がずれていた場合は、正しい用紙に交換またはサイド規制板の位置を直してください。 → 1.4 用紙をセットする (P.25) アプリケーションソフトおよびプリンタドライバの設定が違っていた場合は、[印刷中止/リセット] キーを押して印刷を中止して、用紙サイズを正しく設定してから再度印刷を行ってください。
1ウキャップ テケン	サブカバー内のキャップが輸送時 (上側の穴) の位置にセットされてます。	キャップを使用時 (下側の穴) の位置にセットしてください。 → 付録-1 移動について (P.129)
PHS ユニットオープン	PHS ユニットが開いています。	PHS ユニットを閉じてPHSユニットオープンハンドルを「ロック」位置にし、前ドアを閉じてください。
DATA ERROR	プリンタとコンピュータのデータ通信でエラーが発生しました。	[印刷中止/リセット] キーを押して印刷を中止し、プリンタとコンピュータの接続を確認してから再度印刷を行ってください。

■警告メッセージ

エラーメッセージ	警告の内容	対処のしかた
カートリッジコカシ (色)	(CX 670 : Y/LM/M/LC/C/Bk、CX 650 : Y/M/C/Bk) の色のインクが残り少なくなっています。	少しの間は印刷できますが、できるだけ早く新しいインクカートリッジに交換してください。 → 5.4 インクカートリッジを交換する (P.106)
シバラ マチクダサイ	ヘッドの温度が高く なっています。	温度が下がり次第印刷を再開しますので、このままお待ちください。
ヘッドコカシ (色)	(CX 670 : Y/LM/M/LC/C/Bk、CX 650 : Y/M/C/Bk) の色のプリントヘッドの交換時期が近づいています。	最適な印刷品質を保つため、できるだけ早く新しいプリントヘッドに交換してください。プリントヘッドの交換は、メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
ヘッドコカシ (色)	(CX 670 : Y/LM/M/LC/C/Bk、CX 650 : Y/M/C/Bk) の色のプリントヘッドの交換時期です。	新しいプリントヘッドに交換してください。プリントヘッドの交換は、メッセージの表示内容を控えて、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

6.2 用紙が詰まったとき

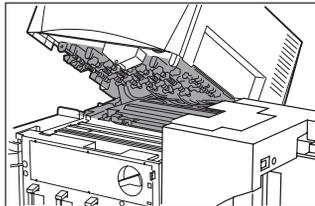
印刷中に紙詰まりが発生すると、印刷が中断され、表示パネルに「ヨウシガツマリマシタ」というエラーメッセージが表示されます。

次の手順で、詰まった用紙を取り除いてください。



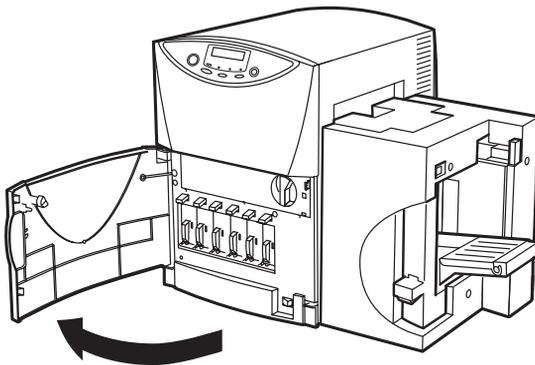
注意

- ヘッド周辺（図のグレー部分）に手を触れないように注意してください。故障やけがの原因となります。



1

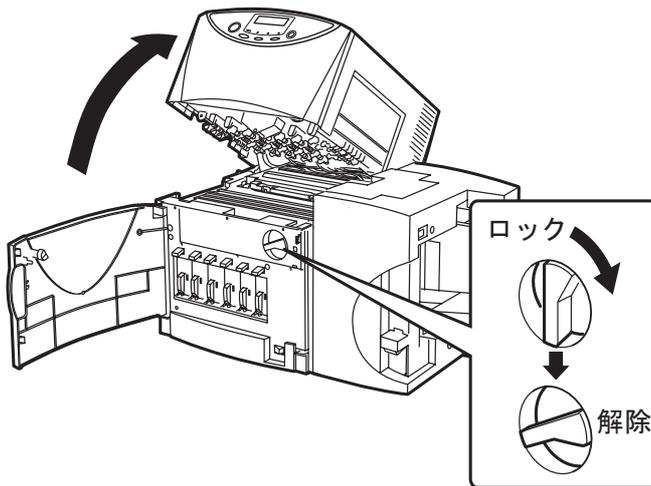
前ドアを開きます。



2

PHS ユニットを開きます。

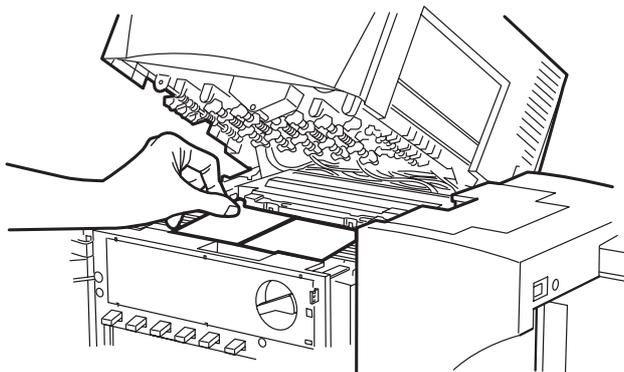
PHS ユニットオープンハンドルを解除位置にして開きます。



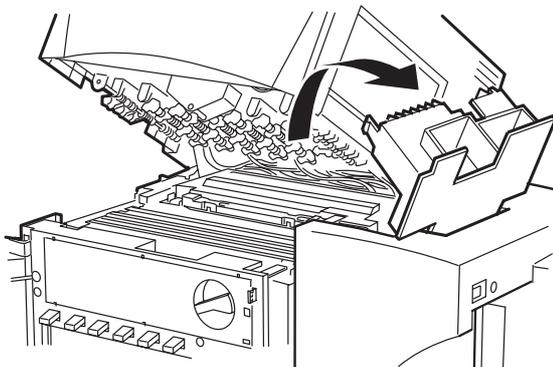
3

搬送路で詰まっている用紙を取り除きます。

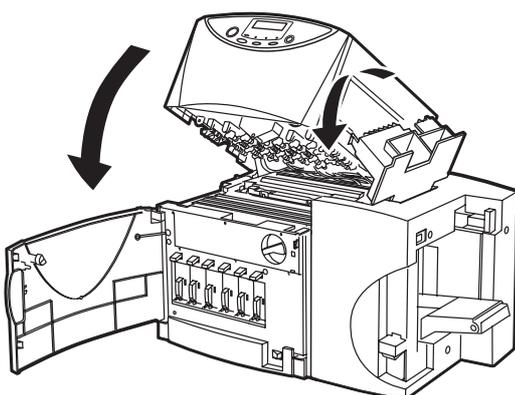
用紙は、排紙口の方向にスライドさせると、取り除きやすいです。



- 4 フィーダカバーを開き、内部に用紙が詰まっていたら取り除きます。

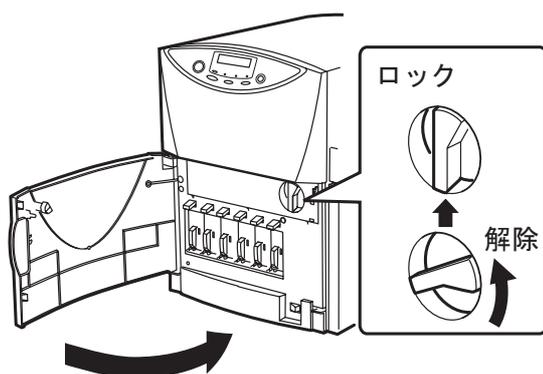


- 5 PHSユニットを閉じ、フィーダカバーを閉じます。



- 6 PHSユニットオープンハンドルを「ロック」位置にして前ドアを閉じます。
 クリーニングが行われ、印刷が開始します。印刷を中止する場合は [オンライン] キーを押した後、[印刷中止/リセット] キーを押してください。

→ 2.3 印刷を中止する (P.37)



6.3 思ったとおりに動作しないとき

プリンタが思ったとおりに動かないときは、次のことを確認してください。

■電源が入らない

確認ポイント	対処のしかた
メイン電源スイッチがオフ（○の位置）になっていませんか	メイン電源スイッチをオン（Iの位置）にしてください。
電源コードが外れていませんか	電源コードをしっかりと差し込んでください。
コンセントに電気が来ていますか	コンセントに他の電気製品を接続してみてください。正常に動作するときはプリンタ本体の故障が考えられますので、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

■印刷が始まらない / 途中で止まる

確認ポイント	対処のしかた
前ドアが開いていませんか	前ドアを正しく閉じてください。 PHS ユニットオープンハンドルが「ロック」位置になっていないと前ドアはしまりません。
フィーダカバーが開いていませんか	フィーダカバーを正しく閉じてください。
コンピュータと接続されていますか	コンピュータとプリンタをインタフェースケーブルで正しく接続してください。
使用しているインタフェースケーブルの全長は長すぎませんか	USBケーブルは2.0m以内で使用することをお奨めします。
用紙をセットしましたか	用紙を正しくセットしてください。 → 1.4 用紙をセットする (P.25)
インクカートリッジはセットされていますか	インクカートリッジを正しくセットしてください。 → 5.4 インクカートリッジを交換する (P.106)
コンピュータ側で CX 670 または CX 650 のプリンタドライバを選んでいませんか	アプリケーションソフトで印刷を開始するとき、CX 670 または CX 650 プリンタを選択してください。

確認ポイント	対処のしかた
容量の大きな画像などを印刷していませんか	[ジョブ] ランプが点滅している場合は、データ処理中です。そのまましばらくお待ちください。
長時間連続して印刷を行っていませんか	印刷を長時間続けると、プリントヘッドの温度が高くなります。ヘッドを保護するため、表示パネルには「シバラク オマチクダサイ」メッセージが表示され、印刷動作が中断されます。しばらくすると印刷を再開します。
印刷先のポートの設定は合っていますか	プリンタドライバの [プロパティ] ダイアログボックスで印刷先の [ポート] の設定で、正しいポートが選ばれているか確認してください。
テストパターンは印刷されますか	プリンタドライバの [ユーティリティ] タブでヘッド位置調整パターンの印刷または設定値印刷を行ってみてください。 印刷された場合は、アプリケーションの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。印刷されない場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにご連絡ください。
コンピュータ側でトラブルが発生していませんか	コンピュータを再起動してから印刷してください。なお、起動したときに印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。

■用紙が正しく給紙されない

確認ポイント	対処のしかた
使用できない用紙を使用していませんか	用紙は 幅 80.0mm ~ 120.0mm、長さ 49.0mm ~ 300.0mm のサイズで、紙厚 0.21mm ~ 0.37mm (カード、はがき)、0.76mm (特厚紙カード)、0.28mm ~ 0.32mm (封筒) のカラーカードプリンタ専用紙を使用することをお奨めします。 上記以外の用紙は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因となります。
用紙の先端が折れたり、カールしていませんか	用紙の先端が折れていたり、カールしていると正しく給紙されないことがあります。また、紙詰まりや故障の原因にもなります。
サイド規制板 (手前 / 奥) を用紙に合わせていますか	サイド規制板 (手前 / 奥) を用紙に合わせてセットしてください。

確認ポイント	対処のしかた
搬送路が汚れていませんか	搬送路が紙粉やインクで汚れていると、紙詰まりなどが起こりやすくなります。本機を定期的に清掃してください。 ➔ 5.6 プリンタの清掃 (P.111)

■ステータスマニタが起動しない

確認ポイント	対処のしかた
ステータスマニタの設定は合っていますか	ステータスマニタの設定によっては、印刷したりエラーが発生しないと起動しません。プリンタドライバの [ユーティリティ] シートを開いて [ステータスマニタ 起動] をクリックします。ステータスマニタが起動したら、ステータスマニタの設定を行ってください。 ➔ 4 ステータスマニタの使いかた (P.83)
プリンタとコンピュータで双方向通信ができていますか	プリンタとコンピュータで双方向通信ができていないと、印刷を開始してもステータスマニタは起動しません。 プリンタドライバの [プロパティ] を開いて [ポート] タブをクリックし、[双方向サポートを有効にする] にチェックされていることを確認してください。 上記の操作を行っても解決しない場合は、プリンタドライバをアンインストールし、再度インストールしてください。

6.4 思ったとおりの印刷結果にならないとき

思ったとおりの印刷結果にならないときは、次のことを確認してください。

■意味不明の文字や画像が印刷される

確認ポイント	対処のしかた
インタフェースケーブルが外れかかっていますか	コンピュータとプリンタをインタフェースケーブルで正しく接続してください。
コンピュータ側で CX 670 または CX 650 のプリンタドライバを選んでありますか	アプリケーションソフトで印刷を開始するとき、CX 670 または CX 650 プリンタを選択してください。
テストパターンは印刷されますか	プリンタドライバの [ユーティリティ] タブでヘッド位置調整パターンの印刷または設定値印刷を行ってみてください。 印刷された場合は、アプリケーションの設定と操作方法、印刷データの内容を確認してください。印刷されない場合は、ご購入の販売店やサービス店、お客さま相談センターにご連絡ください。

■印刷が遅い

確認ポイント	対処のしかた
アプリケーション側で印刷部数を指定していませんか	印刷部数をアプリケーション側で指定すると、1 枚印刷するたびに新たな印刷データを送るために時間がかかる場合があります。この様なアプリケーションを使用する場合は、印刷部数はプリンタドライバ側で指定してください。
給紙間隔が長く設定されていますか	プリンタドライバの印刷設定の [アドバンスド設定] シートを開いて [給紙間隔] を調整してください。 → 給紙間隔を決める (P.73)

■印刷品質が悪い

確認ポイント	対処のしかた
印刷結果にすじ状の線が現れる	<p>低温の環境で本機をお使いの場合は、プリンタドライバの [ユーティリティ] シートの [特殊設定] で [低室温時印刷モード] に設定して印刷します。</p> <p>→ 特殊な設定を行う (P.81)</p>
印刷結果に白く抜けているところがある	<p>プリンタドライバの [ユーティリティ] シートを開いて [クリーニング] を行ってください。</p> <p>→ 通常のクリーニングを行う (P.93)</p> <p>[クリーニング] を行っても改善されない場合は、[クリーニング (強力)] をお試しください。</p> <p>→ 強力なクリーニングを行う (P.94)</p> <p>[クリーニング (強力)] を行っても状況が改善しない場合は、本機をご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。</p>
印刷結果がかすれている	<p>上記の確認ポイント「印刷結果にすじ状の線が現れる」および「印刷結果に白く抜けているところがある」の対処のしかたを確認してください。</p>
印刷結果に色ずれが現れる	<p>プリンタドライバの [ユーティリティ] シートを開いて [ヘッド位置調整] を行ってください。</p> <p>→ 5.2 ヘッド位置調整を行う (P.95)</p> <p>低温の環境で本機をお使いの場合は、プリンタドライバの [ユーティリティ] シートの [特殊設定] で [低室温時印刷モード] に設定して印刷します。</p> <p>→ 特殊な設定を行う (P.81)</p>
中間調の表現が粗い	<p>プリンタドライバの印刷設定の [色設定] シートを開いて、[詳細設定] シートの [ハーフトーン] 処理を [精細誤差拡散] に設定してください。</p> <p>→ カラーバランスや濃度を調整する (P.68)</p>

確認ポイント	対処のしかた
全体的にきれいに印刷されない	カラーカードプリンタ専用紙を使用することをお奨めします。 専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。また、紙詰まりや故障の原因となります。

■印刷された色がおかしい

確認ポイント	対処のしかた
印刷された色が画面と違う	プリンタドライバの印刷設定の [色設定] シートを開いて [色調整]、[明るさ調整]、[レベル補正] などを調整してください。 ➔ 3.4 [色設定] シートを利用する (P.63) また、お使いのコンピュータのコントロールパネルで、[画面のプロパティ] が正しく設定されているか確認してください。 特にディスプレイの種類やガンマ係数の設定が間違っていると、正しい色がディスプレイに表示されません。
全体的にきれいに印刷されない	カラーカードプリンタ専用紙を使用することをお奨めします。専用紙以外の用紙を使用すると、印刷品位が低下することがあります。また、紙づまりや故障の原因となります。 セットしている用紙の裏表を確認してください。両面印刷用の用紙でない場合は、裏面に印刷すると正しい印刷品質が得られません。
画像が明るい / 暗い	プリンタドライバの印刷設定の [色設定] シートを開いて [明るさ調整]、[レベル補正] を行ってください。 ➔ 明るさを調整する (P.65) ➔ レベル補正を行う (P.66)
画像の濃淡が薄い / 濃い	プリンタドライバの印刷設定の [色設定] シートを開いて [詳細設定] で濃度調整を行ってください。 ➔ カラーバランスや濃度を調整する (P.68)

困ったときは

確認ポイント	対処のしかた
画像がぼやけている	<p>プリンタドライバの印刷設定の [色設定] シートを開いて [シャープネス] を設定してみてください。</p> <p>➔ シャープネスをかける (P.66)</p>

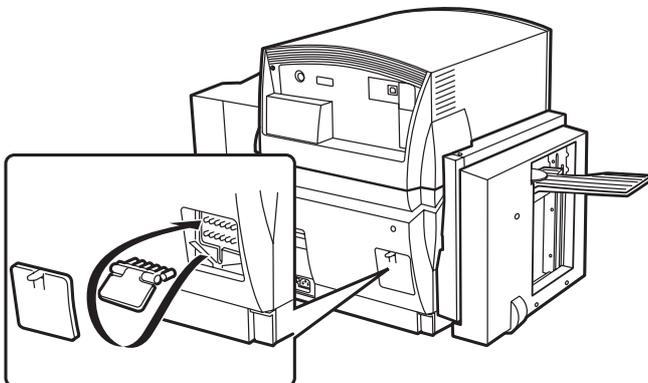
■単色で印刷される

確認ポイント	対処のしかた
印刷設定で単色指定が行われていませんか	<p>プリンタドライバの印刷設定の [色設定] シートを開いて [単色指定] の設定を確認してください。</p> <p>➔ 単色で印刷する (P.67)</p>
アプリケーションソフトの設定が単色印刷になっていませんか	<p>アプリケーションソフトによっては単色印刷を設定できる場合があります。コンピュータ側でアプリケーションソフトの印刷設定をご確認ください。</p>

付録-1 移動について

本機を別の場所に移動するときなどは、次の手順で正しく設置してください。

- 1 **メイン電源スイッチがオン（「|」の位置）になっていることを確認します。**
オフになっているときは、メイン電源スイッチをオンにしてください。
- 2 **トレイ昇降スイッチを押します。**
給紙トレイが自動的に下がりますので、停止するまでお待ちください。
 - 給紙トレイの移動中は、トレイに触れたり、トレイ下部に手を入れたりしないでください。けがや故障の原因になります。
- 3 **給紙トレイから用紙を取り除き、トレイ昇降スイッチを押します。**
- 4 **【節電】キーを押して、【印刷可】ランプをゆっくりと点滅（スリープ状態）させます。**
- 5 **メイン電源スイッチをオフ（「○」の位置）にします。**
 - 電源を完全に切る場合は、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。
- 6 **本体背面にあるサブカバーを外して、内部のキャップを上側の穴にしっかり取り付けてください。**
キャップを取り付けた後は、サブカバーを再度取り付けてください。



7 電源コード、アース線、インタフェースケーブルを取り外します。
CX 650 の場合で、名刺ホルダや用紙スタッカを使用しているときは、取り外してください。

8 前ドアを開き、PHS ユニットオープンハンドルが「ロック」の位置になっていて、PHS ユニットが開かないことを確認して前ドアを閉じます。



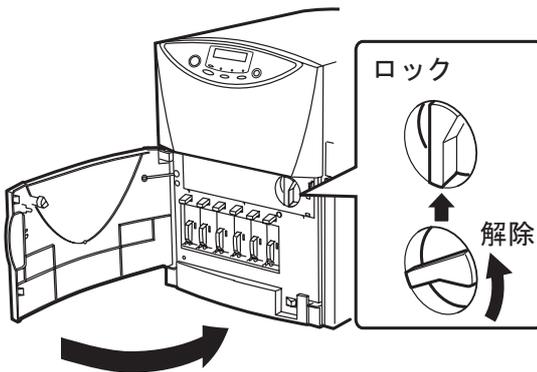
注意

- 本機を移動または輸送するときは、インクカートリッジを取り出す必要はありません。移動する前にインクカートリッジを取り出してしまうと、インクカートリッジ挿入部の奥の針部からインクが漏れて衣服や周囲を汚すことがあります。



禁止

- PHS ユニットオープンハンドルを解除した状態で、本機を移動または輸送しないでください。プリントヘッドの損傷の原因となります。

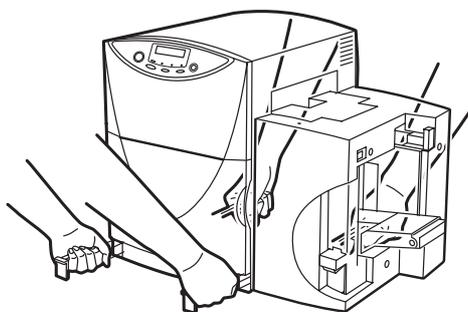


9 本体を移動します。

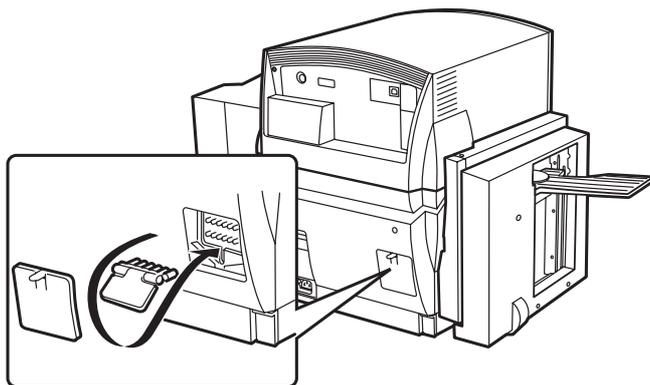


注意

- 本機は、CX 670 の場合は約 38kg、CX 650 の場合は約 35kg あります。本体底部に収納されている 4 つのハンドルを引き出し、必ず 2 人以上で前後からハンドルを持って腰などを痛めないように注意してください。また、他の場所を持つと破損したり、不安定なため落としたりしてけがの原因になります。
- 本機は水平を保ったまま静かに移動してください。移動によりインクが本体内にこぼれると、火災・感電・故障の原因となります。



10 設置したらサブカバーを外して、内部のキャップを下側の穴に戻します。キャップを戻した後は、サブカバーを再度取り付けてください。



11 電源コード、アース線を取り付けます。

CX 650 の場合で、名刺ホルダや用紙スタッカを取り外した場合は、取り付けます。

12 本機のコネクタにインタフェースケーブルを接続し、次にコンピュータ側を接続します。

13 メイン電源スイッチをオン（「**I**」の位置）にします。



- サブカバー内のキャップを上側の穴に差し込んだままにしている場合、表示パネルに「ユソウキャップ テンケン」メッセージが表示されます。キャップを下側の穴に戻してください。

14 トレイ昇降スイッチを押して給紙トレイを下げ、用紙をセットします。

→ 1.4 用紙をセットする (P.25)



注意

- 給紙トレイの移動中は、トレイに触れたり、トレイ下部に手を入れたりしないでください。けがや故障の原因になります。

15 ヘッド位置調整を行います。

→ 5.2 ヘッド位置調整を行う (P.95)

付録-2 プリンタドライバをアンインストールする

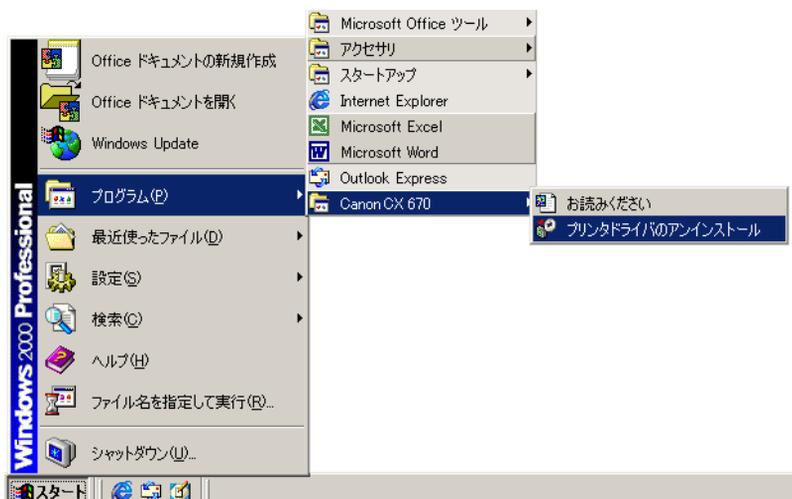
コンピュータにインストールしたプリンタドライバのアンインストールのしかたを説明します。アンインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了し、印刷がすべて終了していることを確認してください。

- 1 **本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外します。**
印刷が行われていないことを確認し、プリンタの電源をオフにしてから USB ケーブルを取り外します。



- 電源を完全に切る場合は、[節電] キーを押して、必ずスリープ状態にしてからメイン電源スイッチをオフにしてください。
→ **電源を完全に切る (P.24)**

- 2 **[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] または [プログラム] から [Canon CX 670] または [Canon CX 650] - [プリンタドライバのアンインストール] を選択します。**
アンインストーラが起動します。



- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されることがあります。表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。

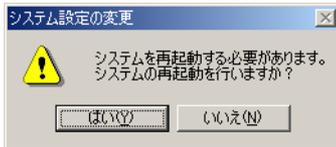
- 3 プリンタが接続されていないことを確認して **[開始]** をクリックします。
プリンタドライバのアンインストールを開始します。



- 4 **[完了]** をクリックします。
[システム設定の変更] ダイアログボックスが表示されます。



5 【はい】 をクリックして、Windows を再起動してください。



- 【いいえ】 を選んだ場合は、再度、プリンタドライバのインストールを行う前に、コンピュータの再起動を行ってください。

仕様

■プリンタ本体

印刷方式	バブルジェット方式
印刷色	フルカラー
解像度	600dpi × 600dpi
印刷速度	名刺、特厚紙カード：80 枚／分 はがき：35 枚／分
最大印字領域	幅 102mm × 長さ 297mm
印刷余白（用紙搬送方向に対して）	先端 1.5mm 後端 1.5mm 左 2.0mm 右 2.0mm (用紙幅 106mm 以下) 2.0mm 用紙幅 - 104mm (用紙幅 106mm 超～113mm 以下) 9.0mm 用紙幅 - 111mm (用紙幅 113mm 超～120mm 以下)
プリントヘッド	各色 2400 ノズル（有効ノズル数）
用紙	カラーカードプリンタ専用紙（マットコート紙、光沢紙）
用紙サイズ	幅 80.0mm ～ 120.0mm、長さ 49.0mm ～ 300.0mm
用紙厚さ	名刺、はがき：0.21mm ～ 0.37mm 特厚紙カード：0.76mm 封筒：0.28mm ～ 0.32mm
給紙容量	名刺、はがき：500 枚（用紙厚 0.25mm 以下） 特厚紙カード：100 枚（用紙厚 0.76mm） 封筒：100 枚
使用インク	専用染料系インクカートリッジ CX 670：イエロー（Y）、ライトマゼンタ（LM）、マゼンタ（M）、 ライトシアン（LC）、シアン（C）、ブラック（Bk） CX 650：イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（Bk）
インタフェース	Hi-Speed USB/Full Speed USB（USB1.1 相当）
稼動音	約 58dB（A）以下
設置環境温度	15℃～30℃、湿度 10%～80%（ただし、結露なきこと）
電源	AC100V 50/60Hz

消費電力	通常状態 CX 670：約 160W（最大） CX 650：約 130W（最大） スリープ状態：10W 以下
本体寸法	CX 670：幅 810mm × 奥行き 440mm × 高さ 470mm CX 650：幅 650mm × 奥行き 440mm × 高さ 470mm
本体質量	CX 670：約 38kg CX 650：約 35kg

- 本プリンタのインクは染料系です。プリント出力物は染料系インクの特性上、一般的に紫外線やオゾン、その他空気中の NOx、SOx や還元性ガスに触れる事により化学変化を起こし変褪色する場合があります。
- データによっては、きれいに印刷データを再現できない場合があります。
- 本機は印刷用紙の使用量削減に配慮し、両面印刷用の用紙を利用していただくことにより、裏面印刷にも対応しています。
- USB ケーブルは 2.0m 以内のものをお使いになることをお勧めします。

仕様

■環境基本性能

消費電力	待機時（スリープ状態）電力		10W 以下
	電源 OFF 時（コンセント接続状態）電力		0W
資源効率	本体寸法	CX 670	幅 810mm × 奥行き 440mm × 高さ 470mm
		CX 650	幅 650mm × 奥行き 440mm × 高さ 470mm
	本体質量	CX 670	約 38kg
		CX 650	約 35kg
	再資源の使用		あり（再生プラスチック使用）
	リサイクル		インクカートリッジ
製品安全	含有有害物質	全構成部品	特定臭素系難燃剤（PBB、PBDE）不使用
		外装プラスチック	重金属（Pb、Hg、Cr（VI）、Cd）、ハロゲン系難燃剤不使用
	稼動音		約 58dB（A）以下
包装材	含有重金属（Pb、Hg、Cr（VI）、Cd）		不使用（外装箱）
	リサイクル		容器包装リサイクル法のシステムによる（2000年4月より）
規格適合	国際エネルギースタープログラム、VCCI（クラス B）		

索引

英数字

180 度回転	61
ICM	64
PHS ユニット	13
PHS ユニットオープンハンドル	15
USB コネクタ	14

あ

明るさ調整	63, 65
[アドバンスド設定] シート	70
アンインストール (プリンタドライバ) ...	133

い

[色設定] シート	63
色調整	63, 64
インクカートリッジ	15
インクカートリッジの交換	106
インクジェットはがき	25
[印刷可] ランプ	16
印刷順	70, 73
[印刷設定] ダイアログボックス (アプリケーションから表示)	39
[印刷設定] ダイアログボックス (スタートメニューから表示)	42
印刷設定の削除	50
印刷設定の登録	47
印刷設定の読み込み	51
[印刷中止]	38
[印刷中止/リセット] キー	17, 37
印刷の向き	53, 60
印刷の向きのプレビュー	45, 53, 62
印刷部数	45, 46
インフォメーション	90

え

エラーメッセージ	115
----------------	-----

お

オートスタッカ	14
オーバーレイ	74
オペレータコール	90
[オンライン] キー	17
[オンライン] ランプ	16

か

[紙送り] キー	17
紙詰まり	119
カラーバランス	68

き

[基本設定] シート	45
給紙間隔	70, 73
給紙トレイ	13

く

クリーニング	78, 93
[クリーニング] キー	17
クリーニング (強力)	78, 94

け

警告メッセージ	90, 118
---------------	---------

こ

高精細文字モード	81
光沢紙	25

索引

コンピュータとの接続20

さ

サービスマンコールエラー90
サイズ変更ボタン53
サイド規制板（奥）27
サイド規制板（奥）切り替えレバー 15, 27
サイド規制板（手前） 15, 26
サブカバー 14

し

シャープネス 63, 66
[詳細設定] ダイアログボックス68
詳細設定ボタン 63
使用済みインクカートリッジ
回収のお願い 110
[ジョブ] ランプ 17

す

[スタート] メニューから表示する42
ステータス情報 87, 89
ステータス表示 87
ステータスマニタ83
ステータスマニタ起動 78, 83
スリープ 78, 79
スリープタイマ 78, 80

せ

精細誤差拡散69
設定一覧45
設定値印刷78, 104
設定内容45
[設定の登録と削除] ダイアログボックス ...48
設定変更後の出カイメージ 63

[節電] キー 16

そ

操作パネル 13, 16

た

単色指定63, 67

て

定格銘板ラベル 14
ディザ69
低室温時印刷モード81
電源コネクタ 14
電源の入れ方22
電源の切り方（スリープ状態）23
電源の切り方（電源オフ）24

と

登録 / 削除ボタン45
特殊設定78, 81
トレイ昇降スイッチ 15

の

濃度 68

は

バージョン情報52
バージョン情報ボタン45
ハーフトーン処理68
はがきスライダ30, 31
搬送ベルト 15

ひ

表示パネル	16, 18
標準設定	52
標準設定での出力イメージ	63
標準に戻すボタン	53, 63, 70

ふ

フィーダカバー	15
封筒	25
プリンタドライバ	39
プリンタの移動	129
プリンタの清掃	111
プリントヘッド	15

へ

ヘッド位置調整	78, 95
ヘッド位置調整パターン	97

ま

前ドア	13
マットコート紙	25

め

名刺ホルダ	14
メイン電源スイッチ	13
[メッセージ] ランプ	17

ゆ

ユーザ定義	55
[ユーザ定義サイズ] ダイアログボックス	56
[ユーティリティ] シート	78

よ

用紙サイズ	53, 54
用紙サイズのプレビュー	45, 53
用紙種類	53, 59
用紙スタッカ	14
[用紙設定] シート	53
用紙のセット	25
用紙の長さ	58
用紙の幅	58

れ

レベル補正	63, 66
-------------	--------

わ

枠線印刷	70, 72
割り付け印刷	70, 71

